婦選

三月號

婦選獲得同盟

巨人を語る

四六判 美裝 三五〇頁
定價一圓廿錢 內地送料八錢

清澤洌著

これは明快な巨人解剖圖、世界の活舞臺に活躍する數多の巨星を、俎上にのせた、著者のメスの冴えを見よ!!

著者は英雄主義者ではない。冷靜な批判の人である。徒らな英雄崇拜をあふつて、讀者を弄ぶ從來の英雄傳とは自らその撰を異にする。何が彼等を巨人とさせたか。讀者は本書によつて、彼等の腐心の努力、非凡なる生等を愉快な物語・挿話の中に自ら體得されるであらう。



目次

▼現代人の巻

マクドナルド
ムッソリーニ
フウヴァー
ヒンデンブルグ
ブリアン
スターリン
クーリッヂ
ボールドウイン
ヒューズ
アル・スミス
リンドバーク
ベーブ・ルース

▼過去人の巻

エヂソン
ライト
フォード
バード中佐
マルコニ
ソクラテス
リンカーン
キャプテン・クック
カーネギー
カイゼルとビスマルク

改訂增補版

模範 最新世界年表

三省堂編輯所編纂

三六判ポケット型 本文五六〇頁 定價一圓五十錢 內地送料八錢

一九三〇年までの世界的史實を一覽し得る本書。新式編纂法に依て年代・人名・地名の正確は素より對照檢索上の便を計つて重要な表や索引をも附けてある。

（各書店に品切の節は直接發行所まで御申込下さい）

東京・神田・駿河臺下・振替東京三一五五五
發行所 株式會社 三省堂
大阪・南區・順慶町・振替大阪八一三〇

ヒューマンタッチによる

明星中學校の教育

校長 兒玉九十

我が國學生思想の惡化、學校騷動の眞因は

學校が大量生産式で眞の教育を施し切れない程の多數の生徒を入れて居る事。

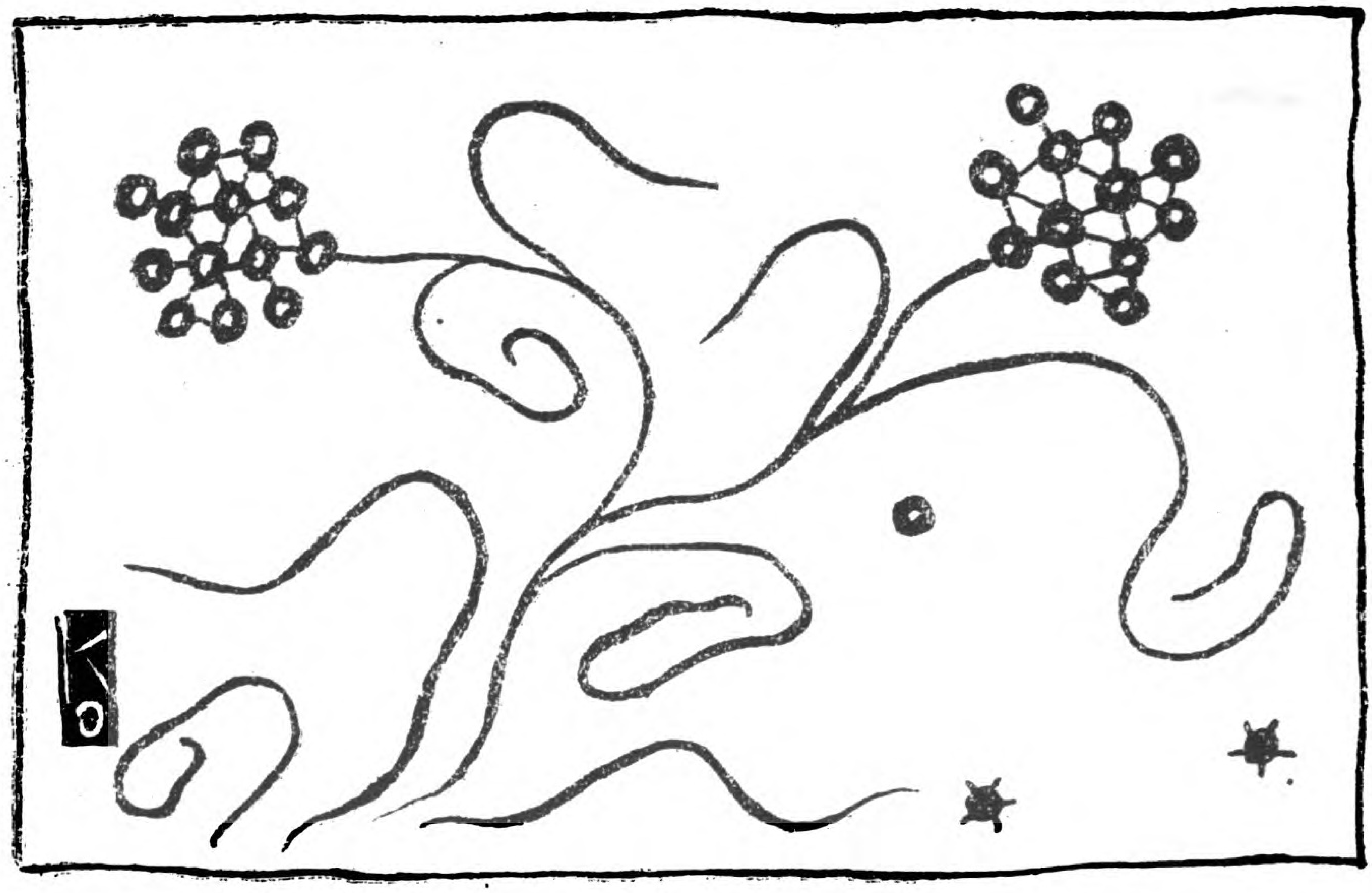
教師が教壇教育即ち講義のみを唯一最上の教育と信じ、生徒に伍して行ふべき指導一切を等閑に附して居る事の二點にあると思ふ。現在の如き大量生産式では生徒の個性を見て長を伸し短を補ふとか、以心傳心といふ樣な教育の第一義は行ふにも術が無く已むなく十把一紮式の劃一扱に墮し、教育が全く一個の事務化せざるを得ない。そして學校全體の雰圍氣は大工場、緣日の盛り場の如く雜然騷然として一種不快なる群集心理の支配下にある。此の樣な處から思想も惡化し、ストライキの起るのは寧ろ當然ではあるまいか。私は此に鑑み、十年間中村氏を助けて、成蹊學園を守り立てた經驗と歐米視察の結果とを綜合して星野鏡三郎援助の下に昭和二年一級四十名全校二百名の少定員の本校を起した。此の樣に生徒數を少人數にして置いて、私及び先生一同が常に生徒に伍して其の個性を見屆け、夫々に適した一切の指導に努力を拂つて居る。斯く師弟人格接觸によるヒューマンタッチの教育は劃一に偏したり注入に流れる無理が無く、生徒は伸々と向上するし、教師としても無邪氣な元氣横溢せる春の若芽の如き生徒に伍し、松は松らしく、梅は梅らしく培導し行く其の事に、筆舌に盡せない教育道の妙味を味ふ事が出來る。私は本邦教育救濟の道は生徒定員減とヒューマンタッチの教育以外には無いと確信して居る。此の樣な教育精神から私は當然寄宿教育を重視して居る。現在本校生徒は通學生も居るが多くは寄宿生である。ヒューマンタッチが原則故、寄宿も少人數の家庭風になつてゐて、各寮共舍監が生徒と起居を共にして世話をしてゐる。私は構内に居住して日夜自ら指導に沒頭してゐるから生徒は引締つた間に樂しく勉强及修養に勵んで居る。

學校所在地　東京市外府中町（省線國分寺下車）

願書締切　三月五日　**入學試驗**　三月七日

FUSEN・FUSEN

婦選 第四巻第三號 三月號目次



婦選東西南北

東方の朋よ、わが婦選の同志よ、一人ゆき二人ゆき三人ゆき、今の時代のいかなる時代なるかについて縷々述ぶる言葉に耳かたむけたまへ、今の時代はすでに女人の蟄居をゆるさず、時代の進展と改革とは一に女人の奮發をまつ。

西方の朋よ、わが婦選の同志よ、一人ゆき二人ゆき三人ゆき、婦選獲得のいかに急務なるかについて訴ふるところに心かたむけたまへ、婦選要望の理、これを理論にたゞし、實際に顧みて、一日おそければ一日の不利なることを知る。

南方の朋よ、北方の朋よ、わが婦選の同志よ、一人たち二人たち三人たち、衆口衆聲、すべて叫びたまへ、求むること正しきに對して怯懦なるはこれ愚なり、求めてこれを惡用なさばこれ陋なり、われら内外に學び縱横に行ひて全人格たらんことを期する。(花世)

總選擧了る（主張）

總選擧は了つた。そして今再び我等婦人は婦人を除外した選擧の結果を前にして、種々の感慨に浸されるのである。

第二次普選に於て國民選擧の實は擧げられたか、選擧の革正は成就したか、民政黨の大勝は何を意味し、政友の衰退、無産派の慘敗は何に基因するか等、等、等、我等の前には、嚴正に批判すべき問題が數多く横はつて居る。

然し乍ら、これらの事はまづ措き、我等が玆に最も欣快なる事として、今次の總選擧に於ける收穫の随一として報導したきものに、地方婦人の政治的自覺が在る。

第五十六議會に於て、望月前内相は、婦人の要求が未だ足らざる理由を以て、公民權問題を暗に葬り去つた。而して現民政内閣に於ても舊冬六大都市に制限する公民權附與案が議せらるゝやに傳へられた。婦選の叫びを中央一部婦人の要求の如く思惟する者は各方面に未だ多いのである。

而して事實は玆にこの妄想を打破する事が、正に明かに出來たのである。

即ち婦選獲得同盟が今次の總選擧を機として全國遊説を行ひ以て婦人大衆に絶好の政治教育運動を行つたその結果は、九州、四國、中國、關東、關西、北陸の諸地方に於て、熱烈なる婦人大衆の支持を受け、百餘の會員を增し、數ケの支部は組織に着手せられ、婦選要求の火の手は今や全國的に焔々と燃え上らんず勢を示しつゝある。

本誌が一度選擧所感を地方婦人に求むるや、回答は糾然として編輯者の机上に山積し、その何れも潑溂の氣溢れ、如何に選擧を熟視し、嚴正に批判したるかを知り得て餘りあるもののみである。

確かに今回の選擧を、全國の婦人は注意し、監視し進んで革正にまで關與したのである。而してこの事は、地方婦人をして一圖に、如何に婦選獲得の急務なるかを痛感せしめたのである。

今や地方婦人の婦選を獲んとする意慾は中央の知識に遊ぶ婦人よりも、數倍する。彼女等はこれを熱望し、併せてこれが行使の途につきて、已に明確なる意識を有しつゝある。婦人公民權は最早この人々にとつては、單なる理論の上のものではない。取つて以て使ふべき必要は彼女等の周圍に鬱然として多いのである。而してその事

の一日早ければ早き程、社會の幸福となるべき事をも、彼女等はもはや信じて疑はぬのである。

新議會は月餘の後に開會されるであらうが、この議會に對して、怖らくこの地方婦人は働きかけんとするであらう。そして更に今冬第五十九議會にこそ、彼女等は、公民權獲得の決戰を試みやうとするであらう。

□

政友會は第五十七議會に、婦選案を扱ふに黨議を以てし、所屬議員全部の名を列ねてこれを提出した。然してその選擧政策中にはこれを掲げ得なかつた。

民政黨は、政府の選擧革正調査會の調査項目中に婦選を掲げ、大にこれを以て現内閣が婦人に理解ある所を示し乍ら、これ又選擧政策にこれを掲げるの斷を爲し得なかつた。

我等は茲に既成政黨の婦選に對する態度を觀うる。

無產政黨はその何れもスローガンにこれを掲げたとはいへ戰線分裂の結果は、新議會に於て前議會より遙に少い議席しか獲得なし得なかつた。茲に我等は無產黨の現實を看る。

政府は選擧終了後に於ては、直ちに選擧革正調査會を開き、かねての問題解決に急ぐべき責任を有し乍ら、選擧後の會合に於ては、比例代表制のみ問題とせられ、婦選の問題は正に安達内相の腦裡より忘却せられ盡したやうに見えるのである。

我等は茲に現内閣の婦選に對する態度を觀る。

この現狀、この事實の上に、我が婦選の旗はかざされわが戰ひは進められねばならぬのである。

我等は茲に明確に、卒直に婦選は獲得以外の如何なる手段によつても得られざる事を認識せねばならぬ。

今や覺醒し來つた地方婦人大衆と共に、我等は、この一路を勇往邁進、今冬に於ける勝利を目睹して進まねばならぬ。

仄聞すれば無產婦人團體も、今後は政治教育運動に力を集めんとし、全關西婦人聯合會亦積極的に運動を爲さんとすると。將に當然の勢。本年こそ、かくて各方面より猛然たる婦選運動の火の手は燃え上り、燃えさからねばならぬ。燃え上らせ、燃えさからさねばならぬ。たのしき戰はわれらをまつ。同志よ。進め。

普選第二次總選擧批判

市川房枝

□總選擧終る

解散と同時に火ぶたを切られた民政對政友、既成政黨對無産政黨の激烈な總選擧戰は、二月十九日に終了し、翌二月二十日の午前七時より午後六時迄投票が行はれた。

この總選擧は立憲國民にとつては、最も嚴肅な國家的重大事であるが、祭日にも公休日にもなつてゐないので有權者は勤務時間乃至は勞働の間をみて出掛けた然し折からの好天氣のため有權者の出あし極めて良好で、千三百萬人の有權者中の一割六分三厘を除いた全部が、各々その貴重な一票を行使したのである。

開票は翌二十一日から初められ、二十三日迄かゝつたが、開票第一日から民政黨は群を拔き、政友、無産は甚だ振はなかつた。この形勢は最後まで持續され、全部開票の結果は民政黨が過半數を超過すること、實に三十九名といふ壓倒的多數を占め、中立、無産は著しく減少して解散前の形勢を全く逆轉せしめた。

（下段參照）

□政府與黨壓倒的の大勝利

民政黨が解散前の一七二名から一擧にして一〇一名を獲得し二七三名の絕對多數を擁する結果となつたことは、政府並に民政黨幹部も意外とする所であつたらしい。

この民政黨の壓倒的大勝利は、理論からいへば國民が——有權者が民政黨の主義政策に贊同し、民政黨內閣を信任したものといへやう。現に濱口首相自身もこれを高唱し、その勝利に頗る得意のやうである。然し事實はむしろ『政友會よりは少しはましだらう。何をやるか、も少し內閣を持續させてみやう』といつた政友不信任の反動から來たものと見るべきであると思ふ。

尚右以外に民政黨が極めて手まわしよく、周到に選擧準備を進めてゐたこと、政府黨としての强みがあつたこと、極め

て巧妙なる方法で干渉を行つた事、及豊富な軍資金―約六百萬圓位、仙石氏、藏相內相等の手によつて、三菱、其他から蒐めたと稱せられてゐる――を持つてゐたこと等もその理由としてあげ得る。

□政友會大敗の原因

民政黨が百餘名を獲得したのに對し、政友會は六三名を失つて、二三七名から一七四名を擁する第二黨となり、其上、元田肇氏、山本悌次郎氏、吉植庄一郎氏等の大幹部を失ふ程の大打擊をうけた。

政友會はこれを一途に政府の干渉、壓迫の結果から來た不自然の結果だと稱してゐる。勿論多少の干渉、壓迫のあつた事は承認できるが、此の大敗の根本の原因は何といつても政友會の過去に於ける失政に對する國民の不信任にあることは爭へない事實だ。

解散前に政友會が擁してゐた二三七名の絕對多數は、選擧の結果ではなく、金錢によつて買ひ集めた多數で、これこそ不自然の多數であつた。從つて此度の選擧での減少はむしろ自然の少數といはなくてはなるまい。

犬養氏を總裁にいたゞいて以來の政友會は所謂人氣を多少回復はしたが、然しそれで、田中總裁時代の失政を帳消しにする程、國民は健忘症ではない。

それに政友會は最後まで解散回避をしてゐた爲、準備不足で立ちおくれの氣味であつたし、黨內が鈴木派、久原派、中橋派等と四分五裂してゐる爲統制がとれず、その上野黨であつた爲軍資金が少く―山本悌、犬養兩氏の手によつて三井、慶應財團から三百萬圓、中橋、久原、山本條氏等の手から百萬圓集められたといはれる――意氣があがらなかつた事も影響してゐやう。

□小會派及中立の潰滅

政友、民政の二大政黨を除いた他の小黨で當選者を出したのは、無產政黨を除いては國民同志會、革新黨の二つだけで明正會及政界革新同盟は完全に潰滅してしまつた。

尙小會派以外に何れの政黨にも所屬しない中立候補者が六五名立候補したが僅かに五名の當選者をみたゞけであつた。

此の中立議員の少いことは從來例にみない所で此度の選擧に於ける一つの著明なる結果とされてゐる。第一回普選の際は中立議員一七名、更にさかのぼつて大正十三年の總選擧の際は中立の當選議員は實に六十五名の多數にのぼつてゐた。所がそれ等の中立議員は當選後、議員爭奪の的になり政界腐敗の素因をつくつて來た。今度の總選擧に於て中立議員が少くなつたことは有權者が此點にめざめ、旗幟不鮮明なるこれ等の議員を排斥した結果である。

小會派が極めて微力なのも、第五十五

議會に於ける明正會の行動に憤慨したる有權者が、第三黨の存立を喜ばず、二大政黨の一つを選擇した結果とみられやう。

口なぜ無產議員が減少したか

第一次普通選擧に於て一擧に八名を獲得した無產黨は、今度は少くもその倍數に近い數を得るであらうと期待されてゐた。所が開票の結果は、前回の八名から更に三名を減少し僅かに五名を選出したのみであつた。

此の結果には、無產黨自身も意外としてゐるやうであるがその原因はどこにあるであらうか。

有權者は勿論無產黨を小會派・中立候補者と同様にはみてゐまいが、然し政權を握り得る可能性ある民政、政友の二大政黨に興味を持ち、これに投票したことも一つの原因としてあげられやう。

或は無產黨の說く所が理論が多くて大衆の有權者にうけ入れられなかつた事最右翼の無產黨と民政黨との間には、甚だしい差異がみとめられず、從つて票數を民政黨にうばはれた結果となつた事もあげられるかも知れない。がそれ等よりももつと手近かな原因は、同一選擧區內に於ける各無產黨の對立が甚だしく對旣成政黨ではなくて同じ無產黨陣營內での爭奪が行はれた結果、投票が分割され、共倒れとなつたことである。

前號で示した如く、一口に無產黨とはいふもの丶、今度の總選擧には、勞農黨、日本大衆黨、全國民衆黨、社會民衆黨の四黨と地方無產黨がそれ〴〵自黨の候補者をたて丶相爭つたのであつた。

大阪第四區の如きは、定員四名の所へ左の如く

鈴木　文治氏(社民)	坂本幸三郎氏(大衆)
小岩井　淨氏(勞農)	大矢　庄藏氏(全民)
大橋　治房氏(地無)	上村　知清氏(地無)

と無產派だけで實に六名の立候補者があり全部落選してしまつた。

この對立は右の如くそれ自身として不

總選擧の結果

◇新議員の黨派別◇

(下括弧内は解散當日の數)

立憲民政黨	二七三	(一七二)
立憲政友會	一七四	(二三七)
國民同志會	六	(三)
無產黨各派	五	(七)
(社會民衆黨二、日本大衆黨二、勞農黨一)		
革新黨	三	(一)
中立	五	(二〇)
計	四六六	(外に明政會三、缺員二三)

◇新議員職業調べ◇

(下括弧内は前議員の數東京朝日調)

新聞通信關係者	一七	(三〇)
著述家	一九	(一八)
教育家	一一	(一一)
辯護士	七九	(七三)
官公吏	三七	(三九)
醫師	一二	(一〇)
釀造業	一〇	(七)
農業	六五	(三四)
商業	一一	(二七)
漁業	六	(四)
會社員(重役を含む)	九二	(一〇八)
無職	七七	(三七)

結果をもたらしたが、一方無產黨に對する大衆の同情を失つた事も見逃せない。

政府當局の干涉も勿論行はれたであらうが、然し政友會內閣の下で行はれた第一回の普通選擧に比較すると、それ程露骨でなかつた爲、かへつて無產黨の士氣を弛緩させる結果となつたと觀てゐる人もある。

第一回の際最高點で當選した安部磯雄氏、鈴木文治氏、龜井貫一郎氏、河上丈太郎氏等が落選したのは、油斷をした結果だといふものもあるが、あたつてゐるかどうか。

然し無產黨代議士の數は減じたが無產黨に對する總票數は第一回の時より三萬餘票(下段參照)增加してゐるから、全體としては悲觀するには及ばない。只增加が豫期より少なかつたといふのである。

□選擧革正の實は擧つたかどうか

此度の總選擧は政黨幹部、政府大官の疑獄事件の直後に擧行されたため政界の淨化、選擧革正が各方面で叫ばれた。

政府自身選擧革正審議會を組織すると共に、地方長官會議其他に於てしきりに之を主張したし、既成無產を問はず各政黨とも選擧の革正を政策の一つに揭げてゐた。

然しながら總選擧施行後の今日、これを詳細に調べてみると、甚だ心細い次第である。政府の干涉は政友會內閣の時の如く怪文書事件等はなく、言論も可成り寬かではあつたが然し極めて巧妙な方法で、主として、地方で行はれたらしく、その事實が政友會、無產黨から摘發されてゐる。

疑獄事件乃至は瀆職罪にて起訴されてゐる刑事被告人を公認し、これを賞揚する推薦文を出して先づ問題を起し、狼狽して本人から公認を辭退せしめたのは現政府であつた。

違反事件が前回より多いとて必ずしも

元官吏	一	(三二)
その他	二一	(六)

◇新議員の年齡別調べ◇

(東京朝日調査)

三十臺	二一	
四十臺	一六六	
五十臺	一六四	
六十臺	一〇七	
七十臺	八	
最年長	七六歲	犬養毅氏
最年少	三四歲	坂本一角氏 淺原健三氏

◇各黨派の得票數◇

(內務省調査)

	得票總數	同步合
民政黨	五、四六七、六五〇	〇、五二五
政友會	三、九二八、二九四	〇、三七六
無產各派	五二三、八六八	〇、〇五一
國民同志會	一八、四九六	〇、〇一二
革新黨	五五、四八七	〇、〇〇五
中立	三三三、八七五	〇、〇三一
計	一〇、四三六、六九〇	一、〇〇〇

◇無產黨各派得票數◇

(東京日日調査)

	當選者數	得票數
社會民衆黨	二	一七〇、七二〇

此度の方が腐敗してゐるとは考へられないが、しかしこれによりて此度も投票の賣買が可成り行はれたことを知る事が出來る。(下段參照)

棄權が前回の一割九分五厘に對し、一割六分三厘に減じた事は結構であるが、しかし買收と投票率が關係ありとすれば率の低いことだけで慶賀は出來ない。

當選した代議士の個々を點檢しても選良の名に價しない多くの人達を見出すのは遺憾の極みである。かやうにみて來ると、此度の選擧も明るい選擧、公正な選擧であつたとはいひ難い。

然しながら之を第一回の選擧に比較すればその間に喜ぶべき現象がなくもない前に掲げた如く中立議員、小會派が少くなつた事、政治的節操のない床次派、明正會、政界革新同盟の一派が甚だしく凋落した事、及び朝野兩黨首が言論乃至は印刷物を以つて一般民衆に呼びかけ初めたことは、我國の立憲政治からいへば進歩の道程をたどつてゐるものであることは確である。

□選擧法改正の必要

現行の衆議院議員選擧法は、それ自身に幾多の缺陷のある事はいふ迄もないが總選擧を終つて特に改正の必要を痛感する個所を二三例示してみよう。その一つは各政黨の總投票數と所屬代議士數の不一致に對する不合理である。

今度の總選擧に於ける各黨派の總投票數は、下段に示した如く、民政黨は約五百五十萬票で、二百七十三名を得てゐるのに對し、無產黨は票數ではその一割の五十萬票を得てゐるのに當選議員は僅かに五名に過ぎない。これは無產黨は次點で落選してゐるのが多いためであるが、國民の總意を議會に反映せしめるのが議會政治の理想であるとすれば、總投票數に比例する代議士を選出せしめなければ

日本大衆黨	二	一六一、三一二
勞農黨	一	七八、三九三
全國民衆黨	〇	一九、六九五
地方無產派	〇	八〇、六四九
合計	五	五一〇、七六九

◇有權者並に棄權者數◇

(內務省調查)

有權者總數	一二、九四二、五九七
確定名簿中より無投票區及沖繩縣を差ひいた有權者總數	一二、六五〇、五一三
棄權者總數	二、〇六三、二五三
確定名簿に對する棄權率	一割六分三厘
最高―高知縣	二割五分二厘
最低　鳥取縣	七分

◇選擧違反總數◇

(二月二十六日迄の分內務省調查)

	件數	人員
一、戶別訪問	七六(八六)	一二二
一、個々面接		
一、買收事犯	一六四(二)	一、一〇一
一、利害誘導	一一(三)	三一
一、文書圖畫	六一(一四)	七六
一、無資格運動	九九(一〇三)	一六九
一、吏員犯罪	八(四)	九
一、妨害行爲罪	四三(四)	五九
一、暴力行爲	一	四
一、不法選任		

──(三)──

なるまい。即ち比例選擧制を採用する必要があることを此度の總選擧の結果によつて痛感させられる次第である。

右の他、濱口首相が、住居の移轉のため選擧權を失つたことは、現行の同一市町村に一ヶ年以上住居する條件を改正する必要を證明してゐるし、選擧の法定費用を更に低下すること、買收を一層嚴に取締ること、年齢を二十歳迄低下すること等も重要なる事項としてあげ得る。

婦人に選擧權を與ふるやう選擧法を改正することは我々の永年の要求で、今こゝに再言する必要はあるまい。

□民政黨内閣の將來

民政黨が絶對多數を得たことは、政局の安定を意味する。若し民政黨が少數黨となつたら、政友會に内閣をあけ渡さなければならないし、尚亦第一回の總選擧の時のやうに政友二一七、民政二一六といふやうに殆んど同數であれば第三黨即ち、小會派の協力を得なければならない。即ち此場合には、小會派がキャスティング・ヴォートを握るわけで、その向背が政局にとつて重大な影響を及ぼすことになる。――第一回總選擧の直後は明正會がこのキャスティング・ヴォートを握つて政府黨である政友會をたすけた。

ところが此度は政府黨が絶對多數を占めたので、反對黨乃至は第三黨の協力がなくても、自由に自黨の政策を行ふことが出來るが、またそれだけに横暴にも陷り易い危險性もある。

來る四月二十一日には特別議會が招集される筈でが、政府は、衆議院だけは心配はない。たゞ貴族院の向背が重大な問題になる譯でさてこそ特別議會開會前に貴族院の各派を招待してその了解を得るであらうと傳へられる所以である。

若し民政黨が途中で分裂等のことなく現在の絶對多數を保持してゐれば、理論上からいへば、民政黨内閣は四年後の改選期迄は確實に續く筈である。

一、休憩所事務所	一	一
一、第三者の費用支出	六(四)	一二
一、傑忌罪	五(一)	五
一、其の他	一一(一)	二八
計	四八六(二二六)	一、六一六

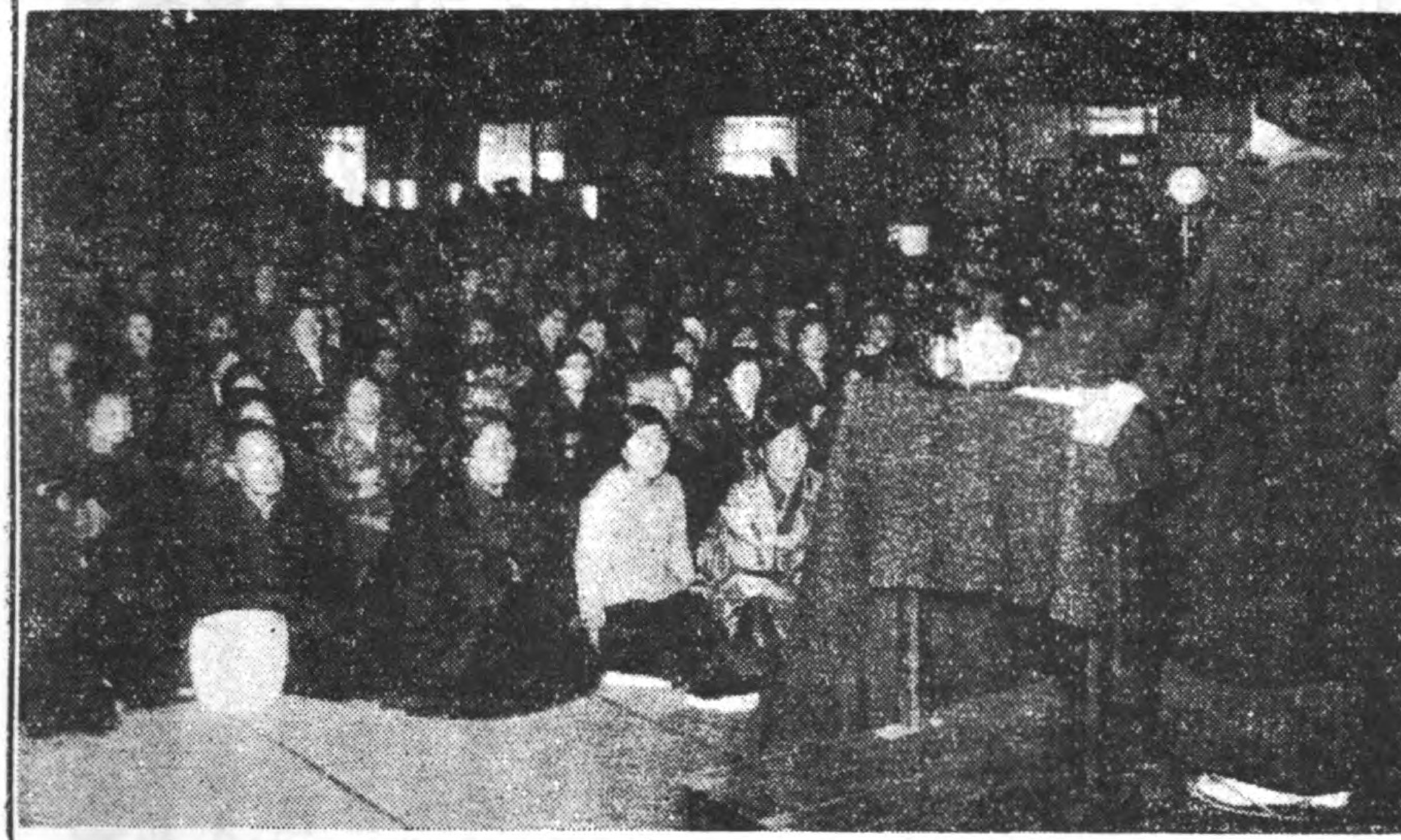
(括弧内は併合犯)

◇新に當選したる著名なる議員◇

長尾　半平氏(民)　前東京市電氣局長　國民禁酒會々長
片山　哲氏(社民)　社會民衆黨書記長
大山　郁夫氏(勞農)　勞農黨中央執行委員長
太田　正孝氏(政)　經濟學博士、前報知新聞副社長
船田　中氏(政)　元東京市助役
田中　貢氏(民)　經濟學博士、明大教授
松岡　洋右氏(政)　前滿鐵副總裁
山本　實彦氏(民)　改造社長

◇落選したる著名なる前議員◇

元田　肇氏(政)　前衆議院議長
山本悌次郎氏(政)　前農林大臣
吉植庄一郎氏(政)　前商工參與官
片岡　直温氏(民)　前大藏大臣
内ヶ崎作三郎氏(民)　現内務參與官
岩切　重雄氏(民)　現商工參與官
松本　君平氏(政)　前海軍參與官
安部　磯雄氏(社民)　社會民衆黨首
鈴木　文治氏(社民)　勞働總同盟會長
河上丈太郎氏(大衆)　大衆黨執行委員
龜井貫一郎氏(社民、社民黨執行委員
鶴見　祐輔氏(明正)



熊本（壇上は金子氏）

われらかく闘へり

——婦選獲得同盟の對總選擧戰——

◇

今次の總選擧に對しては、直接應援、推薦の途に出でず寧ろ圏外なる婦人の立場より一意選擧革正の教育運動に盡さうした婦選獲得同盟が、全國各地二十數ヶ所に亘る奮戰の跡を茲に聊か記さうと思ふ次第である。

◇

櫛の齒をひく樣な電報の往復、けたゝましい長距離電話、飛行郵便、選擧事務所そこのけの事務所から二月早々、二組の遊說隊が隊伍堂々、表日本と裏日本に出發した。第一隊は、坂本、金子、河崎の三女史で、九州、中國、四國から關西、中部と信州まで。第二隊は市川氏の率ゆる北陸、關東組、久布白、竹內、藤田の諸氏が交互に加はる陣容。

◇

二月五日夜、西組の先發金子女史はまづ東京驛頭を發つて一路別府へ。翌六日朝の特急には坂本女史、同夜河崎女史、何れも九州指して出發、この行の財嚢はこれ熊本出身の某夫人が『鄕黨婦人の覺醒』の念願から、三人の旅費としての喜捨一封。しかもこれが親木となつて、枝は正しく別府、德島、廣島、神戶、福知山、松本にさしのべられたのであつた。

◇

二月七日夜、別府市聖公會に於て、革正の第一聲は擧げられた。主催は矯風會別府支部。革正を表向に揭げる事を怖れる當局の意向を察して名は婦人問題講演會。大ストーブを圍み、雪もよひの宵を、この町の若い人の大方を折柄の岡田嘉子の芝

居に送つた後の、中年のまじめな男女百五十。『現代の婦人運動』で坂本女史、『日本の現狀と婦人』で金子女史、何れも結論は革正と婦選を强調すれど、臨監もないのどけさに、しんみりとしたよき會合であつた。

◇

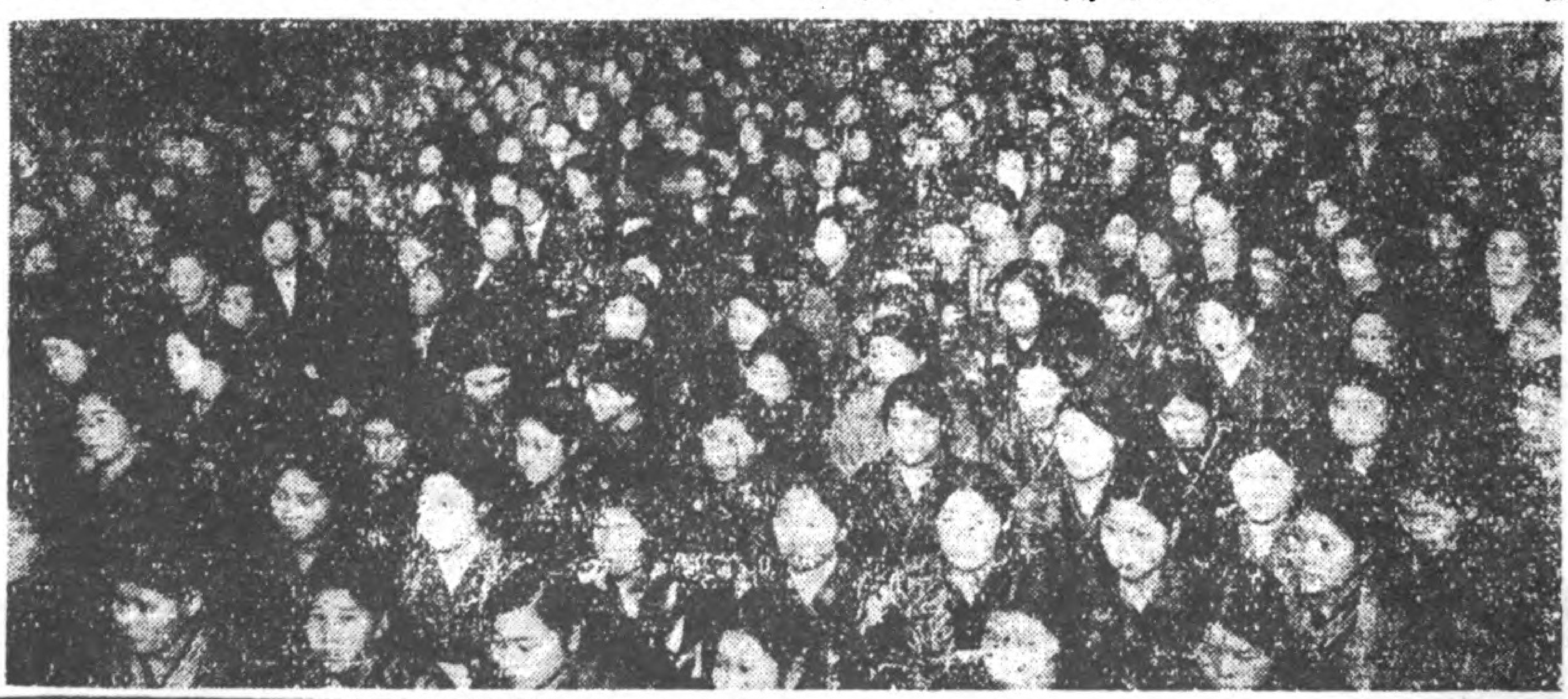
明くれば八日午後一時、阿蘇を橫斷して來た前記二氏と、一路熊本に着いた河崎氏の三人を迎へて、熊本市公會堂に開かれた、同地婦人問題研究會主催、縣聯合婦人會の後援による婦人問題講演會は、二千に餘る聽衆堂に溢るゝの盛況、蓋し熊本開市以來の女群の洪水と評せられた。主催者が土地柄を慮り、時節柄に鑑み、角をとり丸味をつけた演題『婦人の使命』坂本『一敎育者として』河崎『母性愛の立場から』金子の下に、三氏が紋付姿所謂保守的外貌をとゝのへて登壇、滔々數時間、寂として壇下人なく、感激極つてハンカチに泪を抑へる人々も尠くなかつたといふ素破らしい成功を收め得た。しかも保守を以て鳴る熊本市の主腦婦人達によつて即夜支部設置の議が纒められたのであつた



坂本眞琴氏

◇

これから二十四時間も經ない翌九日夜、一行は再び別府市の、今度は新築の公會堂に開





徳島（上は晝、下は夜）



廣島婦選立會演説會

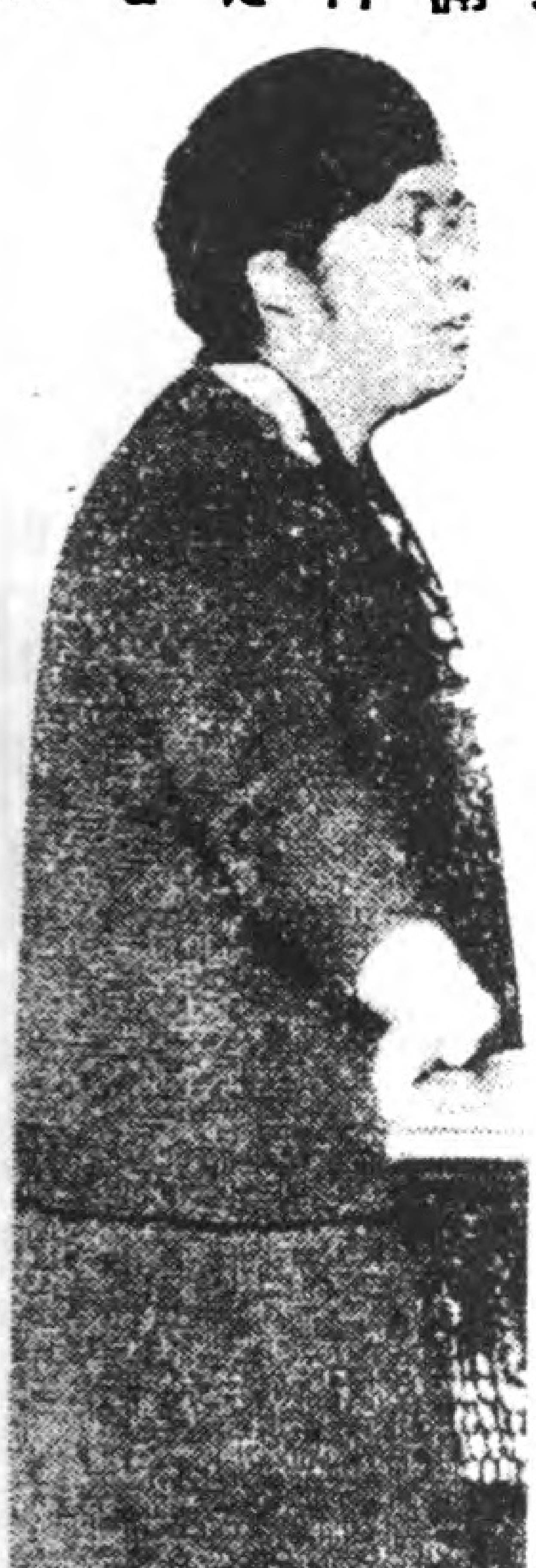


新妻伊都子氏

かれた選擧革正婦人大演説會に臨んだのであつた主催は別府婦人聯合會、二日前の歡迎座談會にかくあらばと、人々の唇を洩れた言葉が、一夜にして實現し、堂々婦人の立場より同地有權者に對する警告が述べられ、六百五十の聽衆熱狂的の拍手を以てこれを迎へたのであつた。しかもこの事開催と決定してより二十時間を出でない間に全部婦人の手でビラの印刷、ビラまき、看板書其他一切がなされたといふに至つては、地方婦人の奮起に特にうたれるではないか。

◇

十日、金子女史は、海路を單身宇品港に上陸。廣島市婦人ホーム主催の演説會に出席した。婦人參政權問題に對する立候補者立會演説會と銘打たれたこの催は、政爭劇甚の日によく聽衆を集め得て木造の舊き公會堂は、危險を感ぜられた程の大盛會、八百の聽衆は、廊下より階下にさへ溢れた。候補者は政民遂に姿を見せず、無產黨の高津正道氏一人長廣舌を振ひ、後を金子氏引受けて一時間半に亘り婦選の現狀について明快の辯を振へば、男子の聽衆も滿足し、婦人の聽衆は衿を正してこれを聽いた主催の婦人ホームはまだ若き一婦人西村ヤス



金子しげり氏



神戸座談會

女史の經營する社會事業、これを授くる人々も何れも若く元氣な職業婦人で、從つてこの催しも全く時宜に適した、大に潑剌としたものであつた。

◇

二月十一日、六甲颪に雪花の狂ひ散る紀元節の午後、新築の大坂朝日神戸支局樓上に於ける、神戸婦人聯合會主催の婦選及革正座談會は、主催者側の各團體代表者二十餘名が、の坂本、金子、河崎三氏を中心に、内輪な打とけた會合が開かれたのであつたこの日藤岡警察部長夫人の斡旋で一度は纏つた愛國婦人會新年會席上での講演が、主事氏の『婦選は愛婦創立の精神にもとる』の理由により、取止めとなつた一幕がまづ席上に報告され、それを皮切りに、神戸に於ける婦選運動の方法について、熱議が交され今後の提携を誓ひ、入會者十數名を得て、この會合も亦成果を收めえたので、同夜は同地名物菊水にて有志諸氏との晩餐會に、一行は旅情を十二分に慰められたのであつた。

◇

こゝで十二日の授業に間にあふべく歸京

（下の寫眞は前橋の演説會）







する河崎氏と袂を分つた二人は、新手の芦屋在住の新妻伊都子女史を加へて、十二日の夜兵庫港發、婦選には處女地の四國は徳島へと志したのである。

徳島は、徳島毎日新聞社主催で、晝夜二回晝は婦人の爲、夜は一般大衆へといふ心きいた主催ぶり。しかもその晝の講演會には、各學校の校長達が大に聽講を促したとの事で、會場千秋閣は見渡す限、制服、袴姿の女學生諸孃と、家庭婦人其數實に九百。それが一言も洩すまじとの緊張ぶりに打たれ坂本氏は『選擧革正と婦人の使命』を力説し、新妻氏は『産業の合理化』を平易に說き、金子氏『現在の日本と婦人』について又婦人の自覺を叫んだのであつた。

夜の會合も男子に對し婦人も三割は加はつて千に近く初めて聞く婦選の演説に興味と關心を十二分に有つが如くに見えた。三氏も亦、自由に革正を叫び、婦選を稱へ天晴處女演說會の成功をかち得たのであつた。

しかも同地では十三日午後特に知事夫人の希望で、愛國婦人會徳島支部會員の小集に招かれ、講演を求められた事は、神戸に比して興味ある事とされ、知事夫人土居喜久子氏の溫良明敏、婦選への正しき理解は一行を十二分に滿足せしめた事であつた。

◇

次の戰はこれも處女地丹波である。十五日夜福知山市公會堂にて、十六日午後舞鶴稲荷座にて、夜舞鶴公會

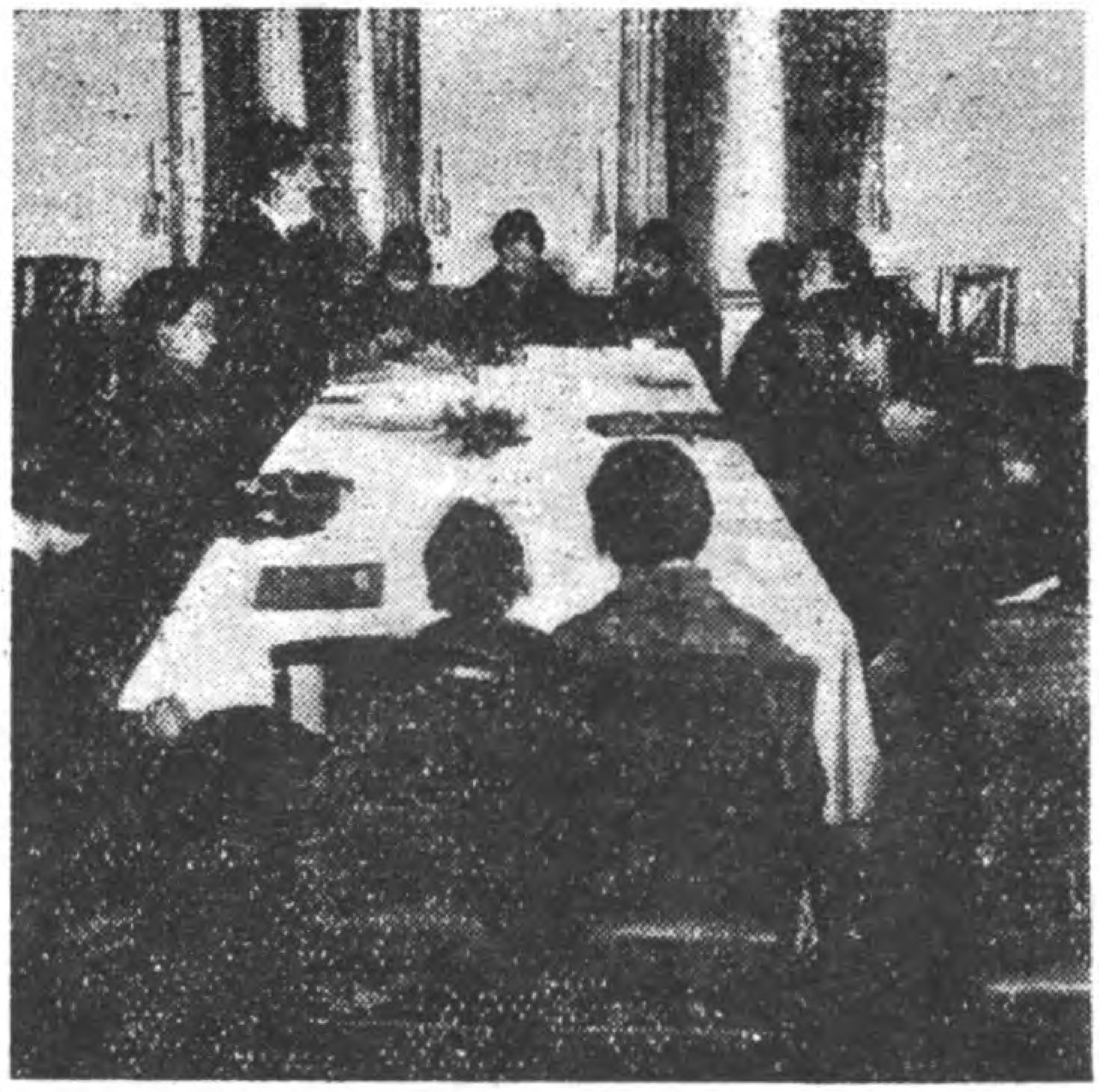


（寫眞上は金澤支部の人々、下は前橋に於ける一行、右より八木橋、河崎、飯塚社長　市川、藤田）

堂にての三つの演説會は、中丹時報社高橋桂二氏の斡旋、時事研究會主催の下に行はれたが、同地方は京都府第三區即ち今回の選擧で、無投票區と早く決定した處であつた爲、遺憾乍ら革正演説の鋭い鋒をおさめなければならなかつたが、それだけに婦選運動を語る時を多く得た事は、金子、坂本二女史の本懐とする所であり、會友十數名を獲得する事をも得たのであつた。殊に舞鶴の如き、女政客某女史の出身地とて、婦選運動に對する誤解も多かつたが、正にこれをとくの好機に遭遇し舞鶴婦人會の會長恒川刀自の如き、わざ〳〵歡迎の辭を開會に當つて述べられた程であつた。

◇

十七日夜この一行は又京都の基督教女子青年會に迎へられて、靜かな講演の夜をすごす事になつた。紅きシクラメンの花鉢の下、美しき煖爐の火に近く、旅に日を重ねた二人は、若き京都婦人と膝を交へて、婦選を語り選擧を語る宵を計らずも與へられたのであつた。この夜來會された同地產婆會幹部及婦選會員有志の人々とは、會果てゝ後も快談盡くるを知らず、大擧して入會、京都支部をも作らんといふ嬉しい覺悟を聞く事が出來たのであつた。


（革正協議會、立てるは齋藤次官）

◇

十八日夜、愈々最後のプログラムを果たすべく、金子、坂本二氏は、木曾路を越えた。松本は公會堂に於て、市婦人會と女子青年團の聯合主催。何の女が革正なぞと、候補者中に、よい日に會場を取られた腹癒せに宣傳する者があり、それが反つて主催者に大に奮起を促したらしい樣子。何せこゝでも會衆は千を超えて襖をはづし、廊下に溢れ、便所の中にまで立つ騷ぎ、明後日が選擧日といふ瀬戸際の事とて、語る者も具體的な例證をひいて買收の事實を述べれば、聽衆も熱してこれを迎へる有樣、いやもうこれで胸がすいたとは、會果てゝ後の主催者側の老婦人の感慨。だから早く一票女子にもたせてみなさいと應ずる人。この人々のこの勢なればこそ、この盛會をと、二女史につく〴〵感じ入らせた事であつたといふ。

◇

名古屋の會員からの希望で、金子女史は十九日の夜同市に戻り、會員座談會に臨んだが、こゝでも一日も早く支部を作つて、大に長野縣會の樣に愛知縣會にも婦選案を決議させやうといふ具體案が協議された。

新女性社主催の十三日の總選擧批判演說會に婦選を代表して忙しい中から市川女史

が出馬した事も、會員諸姉には嬉しい事であつたらしい。

◇

話は北陸、裏日本組に飛ぶ。第二隊の第一彈は、彼の金澤支部によつて、二月九日午後同市公會堂に開かれたのであつた。支部員諸姉はこれに先き立つて八日午後、同市目貫の場所にビラまきをして市民に働き掛けたのである。そして當日も市川、竹内二女史の前に、鈴木、米山、駒井、芳賀、津川の數氏が起つて、革正に、婦選に、大に叫ぶ所あつた事は二女史をして深く感激せしめた所であつた。それかあらぬか二女史の講演も非常な好評で同地に於ける婦選の旗は益々鮮やかにひるがへらとして居る。

◇

十日夜、新潟市大明座に於ては、新潟支部主催の革正演說會が催され、市川、久布白の二頭目が出演した。聽衆千五百、如何に主催が大衆にアッピールしたかをよく證し得た。

長岡市在栖吉の會員佐々木氏の斡旋で十一日は午後小學校同窓會、同夜某寺と二回の會合が催される事となり、雪をついて市川女史出席婦選のいろはより、革正の大話まで且つ語り、且つ論じ、熱心なる會衆に十二分の滿足を與へ得たのであつた。



遊說報告會



東京のビラまき

◇

次は柏崎、十五日午後同地幼稚園に於て新潟支部主催、刈羽郡女子青年團及柏崎婦人會後援の下に開催。市川女史に新手の藤田女史雪を分けて來援。かたみに、婦選の必要と、革正の急務を力說、こゝでも女子青年團副團長田中女史以下數名出演、中には丸髷姿の婦人もあつたので、藤田女史等の感激しきりならず。確かに今日の地方婦人の意氣は遙かに中央婦人をぬいてゐるのである。

◇

第二隊の最後の一戰は、十六日午後上毛の地前橋市、主催は上毛新聞社、定刻已に八百の聽衆は會場臨江閣に溢れる程、まづ劈頭飯塚同社長政界淨化は婦人に俟つ他なしと力說し、婦選同盟今回の擧を贊すれば、同地會員堀江最中氏又起つて、既往の己が怠慢を告白し今後の努力を誓ひ『婦選同盟と選擧革正運動』藤田『一女教員としての立場より』河崎『總選擧に直面して』市川の三女史三方面より心の丈を語りつくした。同市の婦人の約半數を集め得たといふ成功には、斡旋役の當中央委員で目下同縣下居住の八木橋女史も喜悅にひたされてゐた事であつた。

◇

かくて、九州、四國、中國、關東、關西、北陸の諸地方十一縣に亘る大遊說は美事豫期以上の効果を擧げて終了したので、二十二日午後一行の歸京をまつて、麴町內幸町大阪ビル集會室に在京會員を集め、今回の運動の報告會を行つたが、流石に地方婦人の奮起の實狀は中央の會員の心を深く動かしたものゝ如く、改めて今後の運動に對する努力が誓はれた事であつた。

思へば、この運動の當初、全國に組織をもつ婦人團體十五を招いて、革正運動協議會を開催した折、出席團體は僅かに櫻楓會、基督敎女子青年會、婦風會、全國小學校女敎員會、日本女醫會の五團體、それも積極的の協議には進む事を得ず、唯內務次官齋藤隆夫氏の革正に關する講演を聞くに止まつた程度であつたが、この遊說によつて、今やよく地方婦人大衆の支持を得、殊にこれら全國的婦人團體の大部分が部分的に婦選の陣營に參加せんとしつゝあるの實狀を獲得し得たのである。

この成功、これは唯に獲得同盟の成功に止まらず、我婦選運動の日一日成就に近づく勢を明かにするものといはねばなるまい。

經濟時事

▼紡績の操短實施

綿糸の生產を少くして價格を釣り上げやうとする紡績聯合會の計劃は、所謂紡績の操業短縮となつてあらはれ、愈々二月十五日から約二割(休錘一割、休日二晝夜)の操短を實施することゝなつた。

この操業短縮に對しては各方面から反對されてゐるが、社會局及社會事業聯盟では、失業者を出さない爲め、及勞働條件改善のため休錘のかはりに、時間短縮週休制の實施をするやう主張してゐるが、資本家側はこれに應じないらしい。

然しながら一月下旬に操短を決定して以來も綿糸の市價はかへつて下落し大正十年以來の安値を現出してゐる狀態である。

▼國債償還獻金二十萬圓

昨年七月以來、現內閣成立と同時に財界の建直しを看板として國民の協力を宣傳するや國債償還の資金として獻金をするものが續出し昨年十一月末までに

二十二萬三千五百九十五圓(四四五五人)に達した。政府はこれを昭和四年度實行豫算の歲入の雜收入へ一應收納し、その上國債整理基金特別會計中へる筈である。

ふせん嵐

×

今度の選擧で最も目立つた現象は婦人の活躍だ。無產婦人鬪士の勇敢さ華々しさ。候補者應援婦人辯士の看板價値ブルジョアー候補の夫人令孃が黨幹部泣き落しの天晴れな內助振り。我が婦選の取つた政教運動の婦人大衆への根強い浸染等々。だがその孰れが最もよく婦人參政促進に貢獻したかは、敢へて吹聽するにも及ぶまい。たゞ私は、無產戰線以上に婦人戰線の統一の困難な事、一般の婦人で多少選擧に興味を持つ者も尙多くは夫や父親の尻についてるに過ぎないらしい事、東京の知識階級婦人の冷淡を、つく〴〵淋しく思ふ。(夢)

×

選擧戰に女の辯士必要とあつてそちこちからの申込殺到。應援一切お斷りと云へば腑に落ちぬらしい。どこの誰かゞ應援演說に出かけて、いゝ小遣かせぎをしたなどはちと心痛し。

ある代議士夫人、夫君の激戰にぢつとして居られず自ら演壇にも立つてみて初めて選擧の面白味も知りました、と。選擧革正審議會あたりの連中、ちとこの邊の心理を御了解あつて然るべし。(辰)

×

私にも淸き一票があつたら?さうですね金をくれるつて言ふんなら二圓でも三圓でも遠慮なく貰つて置きますね。そしてさつぱりと淸く佐倉宗五郞へでも入れませうか。

一圓札は兩替屋からリヤカーで運んで來たが開けて口惜しき投票箱、只の半票もなくて、揚句が供託金沒收、しかも宗五郞どんが最高點――尤もこれは當選しても一寸厄介ですが――なんて愉快ぢやありませんか。それ位でなければ革正なんて出來ませんね。貰つた金ですか。それはどつかへ寄附します、え、婦選へだつてかまひませんでも「そんな不淨な金は」なんて言ふ人があるかしら。(午)

×

鈴文落ちて民衆の目覺めざるを喞つ。安部さんも落ちた。日向ぼつこの罪ばかりではない。民衆の眼ははつきり明いてゐる。既成政黨と五十步百步なら、少しでも仕事の出來る方を出さうといふのは其の證據。大山さんへの投票は恐ろしく字の巧いのばかりだつたといふ。この人インテリの代表佐野學への蔭投票數百が飛出てお巡さんおつとり刀。民政政友豫期の通り「天定つて」もとより奇なしか。今度の第二次普選で時勢といふものをはつきり見せて頂いて有難うございました。(丑)

×

『この次は婦選ですね。公民權位今年中に取れやしませんか。』こんな言分を、いくら春先とはいへ聞かされ過ぎる。一體誰の婦選なんだ、誰から貰ふ公民權なんだ。そして最後に、それを貰つてどうといふのだ。獲得を專門家まかせに遊ばせて結構なお心掛の淑女貴婦人たち、お賴まれしないでもお獲りしては差上げますよ。どうか陽氣もよくなりました事故、少し政治學と社會學との實際的な御勉强でも遊ばしませ。現內閣は友愛結婚に對して如何なる取締方針を樹立するや?產兒調節相談所は本年中に何ケ所增加するや?製糸女工の賃銀不拂問題は、貴女の胃酸過多症を昂進せしめるや?題の足りない方にはいくらでも出して差上げます。(亥)

地方遊説座談會

出席者　市川房枝　坂本眞琴
　　　　河崎なつ　藤田たき
司會　金子しげり
書　安富淑子

婦選獲得同盟では、今回の總選擧には、前回に用ひた推薦應援の方法を全く棄てゝ、一意選擧革正運動に努力しましたが、中でも地方遊説は九州四國、中國、關西、北陸、中部、關東の各地方に亘り、二十餘ヶ所の講演會に多大の成功を收め得ましたので、一夕この遊説に出られた方を迎へてその感想を伺ふ事としました。市川、藤田氏は裏日本を、坂本、金子氏は表日本を、河崎氏は双方へ行かれたのです。

金子　今日は一つ內輪ばかりですから寛いで御話し下さいませんか。今度の遊説は各地とも中々大成功だつた樣子で、さぞ皆さんも新しい經驗をなさつておいでゞせうから、種々伺ひたいと思ひますまづ最初に、今度の旅で一番お感じになつた事から伺はせていたゞきませうか。

市川　私が一番強く感じたのは、土地の婦人達が、私達東京から出掛けた者が話す前に自分達も演壇に立つたことですね。金澤や柏崎、新潟、前橋等でいづれも五六人の婦人が立つて、選擧の革正や婦選の必要を、村や町の實例を引いて語つた。それも借物でなく立派に自分の意見になつてゐる事でした。

坂本　そこまで進んで來たのですね。

市川　この感じは柏崎で特に深かつた此處は金澤や新潟と違つて支部があるわけでもないのに、郡の女子青年團の副團長をしてゐる田中さんの述べた開會の辭でも、單なる挨拶でなく立派に意見を述べましたし、佐々木さんといふお寺の奥さんなどは現政府は婦人に緊縮のお手傳ひをさせながら何の權利も與へようとしないと堂々抗議してゐました。閉會の辭を述べた桑野さんも、一票の權利を正しく行使せよと叫んでゐました。

金子　柏崎だけ特にそんなに進んでゐる理由はどこにありませう？

市川　理由は色々あるでせうけど、さうした婦人達の夫が政友なり民政なりの政黨で働いてるため自然教育された、と云ふやうな點もありませう。それに柏崎は聯合婦人會も進んでゐます。新潟には「婦選なんぞ叫んだらむしろ旗だ」と云つた婦人もあるさうですが。

金子　柏崎のは先方から進んで開催を希望して來た位だから、やつぱり違うんですね。

市川　そのお寺の奥さんが先に立つて主張したのださうです。

金子　藤田さん、あなたの御感想を。

藤田　私も市川さんと同じことを感じました。そして中央の若い人達もモツト地方へ出て見る必要があると思ひました地方の婦人が外面は地味でも如何に熱心になつてゐるかと云ふ事を實際に見る必要があります。『婦選』なんかでも實によく讀んでゐらつしやる。私なぞいゝかげんな物は書けないナとつくぐ思ひました。自分の責任の重さをハツキリ感じました。

市川　それは全くほんとうです。ある會員は藤田さんに「誌上でいつも御指導頂いて有難ふ」とお禮を言つてきました。

坂本　私の廻つた地方は、東京の婦選運動者に對する誤解が大分ありました。私達に接して、始めてどんな人がどんな運動をしてるかが分つて安心したと云ふ人が隨分ありました。こうして、今まで婦選運動者を怖れてゐた人達に一つの足場を作つたと云ふ事は今度の遊説の大きな收穫だつたと思ひます。兎に角誰でも地方に出掛けて實際に接觸すると云ふ事は大變よいと思ふ。

金子　私の感想も大體同じやうなものですが、私だけが行つた廣島と京都、名古屋では可成職業婦人の人達と語り合ひましたが、職業婦人はやはり家庭婦人より數歩進んでゐるやうに思ひました。さう云つては家庭婦人に少し氣の毒ですが經濟的に獨立してる者は實際生活から社會的の事實を知つてゐますから婦選問題もアウトラインは大體理解してゐて、そのもう一歩先を指導して呉れと要求してゐます。つまり下地が出來てるので婦選の話しを聞けば直ぐこちらの思ふ所へはいつて來ます。京都の或る産婆さんですが自分達の仕事の事で請願運動などをした經驗から一票の力の必要をつくぐ感じたと話してゐます。そして今度の選擧には同志の人々と方々の演説を聞き廻つてるとの事でした。



河崎　私のも結論は金子さんと同じになりますが、私は自分が教師ですから教師の例を取つてお話します一體先生ツてものは職業婦人であると共に家庭婦人である人も多いので、一體にボウとした所がありますが、それでも家庭婦人よりは社會を見てゐる、社會と婦人との關係を認めてはゐますがそれをハツキリ外に表明する事が出來なかつた。それが私達の話しを聞いて、ボンヤ

り感じてゐたものがハッキリ浮び上り、婦選の必要な事がわかつた。今まで何かしら障害を感じてゐたのは、つまり婦人に一票の權利がないためだつたと、始めて合點が行つた。然しそこへ又既成意識がハッと甦つて「でも先生が婦選の會員なんかになつていゝか知らん！」と心配になりまして、私の處へ訊きに來た私は



政黨とは違ふのだから入會しても何の差支へもないと說明すると安心して會員になりました。

金子　産婆、派出婦、タイピスト等は同じ職業婦人でもそんな事に縛られる心配がないので、その點教員とは大分違ふやうでそれだけ溌溂としてゐるやうに感じられました。

河崎　ですから私は出來るだけ先生階級との接觸を心がけてゐます。先生連も今までは教へる事にばかり氣を取られてゐましたが、此の頃では社會的の事にも興味を持ち出して來ました。婦選を獲得したら先生としてどうすればいゝかなどゝ訊ねます。又、東京でばかり運動せず地方にも來て吳れと熱心に賴んでゐました。先生連が、婦選にはいつても職務上心配がないと云ふ事がハッキリ呑み込めればもつと〳〵動くと思ひます。も一ツ感じたのは、地方の婦人團體中婦選の要求のために起ち上らうとしてるのは、矯風會だと云ふことです。矯風會が其ために骨折るのは、矯風會の仕事が婦選が無くては出來ない事をハッキリ知らされた爲めでせう。

金子　それと同じ事を熊本で感じました熊本では公娼廢止案を縣會に通すために、矯風會の外佐保會（奈良女高師同窓會、櫻蔭會(東京女高師同窓會)櫻楓會（日本女大同窓會）聯合して血の出るやうな運動を續けたのに慘敗してしまつた。それと云ふのが全く婦人に一票の權利の無いためである事を知つて、矯風會は勿論、他の婦人團體の人々も婦選の必要を痛感したやうです。さうした具體的な問題から段々めざめて行くのですね。

市川　私がこの前九州の矯風會部會で婦選の講演をした時の感じで云ふと、部會長が熱心な婦選論者であるため單にその命令で動いてるだけで、矯風會の會員が皆婦選を求めてるとは思はれなかつた。

金子　それは、市川さんのは九州全體だし今度のは要求のある土地へだけ行つたのだから少し違ふでせう。それから私達がどこへ行つても聞かされた事は、今日の會には遊廓側の人が來てるからと云ふ事でした。つまり女が演說さへすれば廢娼を云ふものと決めこんでるらしい。

遊廓側の人には婦選と言へば、廢娼と直ぐピンと響くらしい。長野縣會で、具體的な廢娼案の通過は仲々難しいが、婦選案は安々と通つたのは、婦選なら直ぐ影響する事はないと思つて縣議連がうつかり贊成したらうと思つて見ましたが流石遊廓業者は婦選と廢娼の關係を頭では分らずとも、感じで婦選と言へば直ぐ廢娼を聯想するやうになつて來てゐるのだなと思はせられました。

市川　まさかまだ婦選と廢娼と同じだと思つてゐる譯ではないでせうが。

金子　然し婦選の演説會と言へば廢娼を云ふかと思つて遊廓の人が直ぐ聞きに來る所に興味があつたのです。少くともさう思はせるだけでも有効ぢやありませんか。

坂本　禁酒の問題でもさうですね。それから聽衆のことで、各地とも盛會で無論男も多數でしたが、女の聽衆は東京ではとても見られない程澤山集りました。

市川　午後の會は婦人が多く、夜の會は男子の方が比較すると多いやうですね

金子　私の方は總じて女が多かつた。そして中には多少彌次る積で來た連中もないではなかつたが大概聽衆の方が封じて了ひました。

大部分の聽衆は非常に眞面目でした。



藤田　私が特に感じたのは私はさう男の人を難詰する樣な態度は取りませんが惡い點は靜かに忠告すると男の聽衆が別段嫌な顔もせず、却つて有難いと云ふ樣子で素直に私の直言を受け入れて呉れるのを嬉しく思ひました。

河崎　市川さんなんかも、候補者の品行や買收の事實などを可成露骨に非難されたが、市川さんの態度の立派な爲めもあるが、男の人達は皆眞面目に拍手して聞いてゐました。

金子　やつぱり時代ですね。女が何を語らうとしてゐるかを熱心に聽かうとしてゐる樣子は壇上からよく分ります。

河崎　婦選が始めて青年會館で演説會を開いた時とは全く隔世の感がありますね、今度のは選擧革正演説會で聽衆は大概男女半々だつたから、男には選擧革正を、女には婦選の必要を説きましたが一票の權利の要求を叫ぶ時は、女の人達は如何にもと感じ入つたやうに合點するが革正の話しになると、そんなものかナア……と云つたやうな稍縁遠い顔付きをしてゐます。男の方は又、革正の話しになると拍手して共鳴します。その對照が實にハッキリして面白かつた。

坂本　舞鶴は無投票區で革正を叫ぶ必要がないので特に婦選同盟の仕事を細く話しましたが、それが大變よくて、或る

若い女子青年團の婦人は私達は「何をすべきかと云ふ事がよく分つた」と話してゐました。

市川　やはり革正の話しだけでは物足りない感じがあつたやうですね。

金子　私はもはや婦選を語るのに抽象的な議論を述べる氣がしないので、特に婦選運動の現狀について具體的な事實ばかり話しましたが、抽象的でないだけに男にも女にも興味があつたやうです。五六議會の公民權案の成行などは特に興味を與へたらしい。



坂本　こうした話しは力強く響くので終ひには彌次まで靜まつて、成程とうなづいてゐました。

金子　徳島の貴の會では、土地の女子師範裁縫女學校等の校長が進んで生徒を出して呉れたので、女學生が非常に多かつた。是だけ教育家も進歩したのですね。家庭婦人の聽衆が少なかつたので、女學生達は「こう云ふ話しは奥さん方も聞くべきだ」と囁いてゐたさうです。然しその後の影響が大變よくて、どこの家の茶の間でも、お湯屋でも婦選の演説會の噂が語られてゐるさうです。それから、自分の出身地に婦選の支部が出來ると云ふ事は非常に刺戟になるようですね。私は金澤の者だが、金澤に支部が出來たさうですね、と云ふ風な話しをあちこちで聞きました。

河崎　他所に支部の出來た事を聞くと自分の所に無いのは自分の責任のやうな氣がするらしいですね。私にこう云つた婦人がありました。金澤に支部が出來た事を主人に話したら、お前は餘り怠けてゐる、もつと働かねばいけないと言はれました。今まで一人の會員も殖やさなか

つたのはすみません。是からはしつかりやります、と。

金子　さうした感想を洩す人は、口先でなくほんとうに誓ふやうな態度ですね徳島の知事夫人も「今日のお話しで選擧革正の必要がよくわかつたから、今度の選擧にはキツト致します。」と言つて居られた。

坂本　實に皆眞面目です。

河崎　前橋の或る老婦人は、婦選の通過迄は決して死なないと云つてゐたとの事でした。京都の渡邊と云ふ婦人は、もう子供も大きくなつたから餘生は婦選運動に捧げる、と誓つたと云ふ事が新聞に出てゐました。

金子　さう云ふ人がある一方には、熊本で演説會を開いた時、大丸髷を戴つけた奥さんが「買收をしないでどうして選擧が出來ますかッ」と豪い見幕で怒鳴り込んで來た例もあります。これなどは流石政爭で名高い所だと思はせた例ですね

市川　既成政黨の政治家の奥さんなんてのには腐敗した政治意識に染みこんでるのが多い。夫の云ふ通りを信じてそれだけの知識しか持ち合せない。こんなのには困るが、こう云ふ人達の態度を矯正するのが急務か、白紙の人々に新しく吹き込む方が先かといふ事を考へさせられた。

金子　勿論白紙の人達に運動した方がよいでせう。

坂本　福知山の時事研究會は、まだ政爭に染まつてゐない青年達でこの人々の主催した會は大變によかつた。

金子　新有權者の青年が多く、從つて皆女の人にも一票與へるべきだと言つてゐました　そして皆會友になりました。その中に新炭商の青年があつて、熱心に燃料問題を研究してゐるのですが、彼のお客樣である婦人達の頭が單に燃料問題に對してだけでも餘りに封建的なのに閉口してせめて、婦人の頭をよくするためにも權利を與へる必要があると、話してゐました。



坂本　私達は今度の遊説で地方の人達のテストにパスしたから今後の運動をするに大變よい下地を作つたと重ね〴〵思ひます。

金子　地方の人が會報を隅から隅まで讀んで吳れてるのはほんとに嬉しい事でした。會報は出してよかつた。骨折甲斐があると思ひました。

河崎　西日本は聯合婦人會がどこでも組織されてゐるから、運動をしようとすれば直ぐ立ち上る事が出來たが、東北方面はまだ組織が出來てないので、起ち上るのが可成面倒だつた。婦選同盟はこの

後を受けて、今一度全國に組織のために行かねばならないと思ふ。九州の一角には既に根が下りたから、先づ九州全體をまとめたい。それから裏日本、中國、東北と進めたい。それを今年の婦選の第一の仕事にすべきだと思ひます。

金子　さうです。冬の議會運動までにそれをやるべきです。そして來るべき議會に全國の婦人を動員するために婦人大衆を組織せよ——それをスローガンに進みませう。熊本の會場宛に郡部の人から來た手紙に、幹部は都會地にばかり行かず、郡部にも來て欲しいと書いてありました。とにかく今度の計劃が大なり小なり反響のあつたのは大變よかつた。やつぱり地方を廻らねばうそですね。それに我々の運動が地方的になると、地方の新聞が動く。それは大變いゝ宣傳になる。

河崎　こうして置けば、近く公民權を貰つても充分使へます。

金子　遊説に行つた各地からもこのほとぼりの冷めない中に又誰か來て呉れとしきりに言つて來てゐます。

河崎　地方の若い婦人は近頃では文學よりも政治により新鮮な興味を感じてゐるやうですね。今度の遊説は婦選の促進に有効だつたのみでなく、總選擧對策としても有効だつた。

市川　とにかく地方の婦人を起たせることですね。

金子　近づく婦選の黎明を祝して、閉會致しませう。

地方婦人のみたる總選擧

大阪　石原良子

なんと申しましても此度の選擧で私の一番悲哀を感じましたのは無產派の慘敗でした、私は平素から安部先生始め此黨の方々を尊敬し一方或期待を持つて居りましたからです、然るに今目の前にこんなくやしい光景を見せつけられてたまらなく呆然としました、或心易い職工の親分は私に囁きました、これは私達職工の悲しき希望でした、獨り西尾末廣君を落しそこねた事は殘念だつたと云ひました、結局彼等勞働者は指導者であり先覺でありたのみの綱である無產派の分裂をつらく思ひ頼りなく考へ出し一度無慘な光景が顯はるる事は將來の爲めだと決心して彼等の多くは民政黨に投票したのだと申しました、勞働者達の思ふ通りの効果が擧るかどうかは別問題として先覺諸氏は夫ぞれ大に心を廣くして同じ目的に進まるゝ以上一致團結される筈だと思ひます、そうされないと將來が暗くなります。

私は此話から私共婦人參政權を要望する同志は學ぶべきものがあると考へます。

民政黨の豫期以上の勝利はあれ程迄に人民が現政府を信頼してゐるとは思ひません、政友會が餘り不人氣すぎるのと無產派のこぼれ票が集つたからだと見て差支ないと存じます、白熱戰中至る處の演說會を聽き一番氣持わるく感じましたのは反對黨の惡口雜言を無暗矢鱈にしやべりまくる事でしたがそれ以上に嘔吐を催さしめ極度に悲痛を感ぜしめたものは無產派の同志打演說でした、かくの如きも慘敗の一因たる事を疑ひません。

私共婦人が遠からぬ將來に參政權を得た曉には、婦人が立候補します、そして政見發表演說會には反對者に對して餘り惡口を云はぬやうに自分達の抱負を眞劍に申述べる申合せをしたい、上品にありたいとつくゞ思ひました、昔の諺に「男やもめにうじがわく」といひます日本のやもめ政治も同様になりはしませんでせうか、早くも一隅にはうぢがわいてゐる樣にも感ぜられます、一大淸潔法は婦人の政治的進出です。そして極力けがれた政治を潔め明るくせねばなりません、明るい處にはうぢはわきませぬ、先覺諸姉の御奮鬪を切望いたします、此度の選擧に就いていさゝかながら慰められました事は自分の息子達の政治意見がいつの間にか私の政治的意見に一致同化して居るやうです、それで彼の一[illegible]（母の力を喜びます）は私の望む通り用ひられました、總選擧によつて私の感じ且つ喜び得た要點は同じ目的に進む者共は心を廣くして團結する事、これが欠くるならば一切が無駄骨に終るといふ事を痛感しました。

京都　黑部　妙

横暴政治の撲滅、腐敗政黨の慘敗、黨籍曖昧候補變節の失墜は痛快或一部を除くの外追て政治の淨化を招來するものと思ひます、これは普選が與つて効ありと思ひます、此上婦選が實施されたら一層淨められると思ひます、當地では民政黨を絶對に支持せんとして却て巨頭を落しました、苦戰奮鬪した無產黨の無慘な敗け方

は實に氣の毒でした、毛利元就の遺言が現實に來ました、他日吾々同性にも一票を與へられ又議場に代表を送らんとする時には今回の無産黨の轍を踏まぬ樣によき敎訓を與へられた。

前藏相三土氏上京の途次自黨の敗因を干渉壓迫買收に歸す、失政を省みぬ此暴言此の根性の治らぬ内は國民は斷じて内閣を渡す可からず。

松本百瀨ゑい

何時の世何處も同じ事でせう、官憲の干渉、買收、選擧民の無自覺の三つが常に煩ひをなします、物質の爲には節操も何もないといふ樣なものが最高點で當選する事は珍しくもないです、上手に機會をつかみ得る人が勝つ樣です、選擧民の多くは雷同でなくば物質の動きで行く樣です不干渉不干渉と云ひながら反對派だと睨んだ人々の動きを監視して其間に與黨側の人々に勝手な眞似をさせるなど少しも革正の事實がありませぬ・其證據には時の與黨の人々が勝を制するのでも判りませう、特に今回は其方法が巧妙に行はれた事と多くの人々が見て居る樣です。

名古屋 藤原靜子

かゝわる事は許されないお隣りの喧嘩をやきもき心配した後の樣な氣も致します、健忘性扱ひされてゐた國民とは云ひ乍ら、總選擧の結果の政友議員の數の上に、國民の記憶が顯れて居ます、變節議員やら賤臟議員の頭上に下つた懲らしめの鞭も。

普選第二次總選擧に際しての國民の政治的覺醒の顯著さを見せて居ます、然しながら民政黨が壓倒的大數を得た事を以て國民の積極的信任の現はれと見る事は疑問です、私は民政黨の大勝利に滿足する事は出來ません、婦人の意志の反映が約束しない總選擧の結果に對して憂鬱を感じます。

山梨 島田爲野

男子なればこそ候補者の名前の書けない者まで權利を有て「今度のはお金にもならず、と言て別に此人こそと思ふ人もなし…」など〻途方に暮れて居ます、女性はそれらの人にも及ばないコンマ以下の存在であるのです「然し夫妻別々の政見を有て家庭が波瀾を起こしても困るでせう」など〻婦選論に對して揶揄を試みんとする者もあります「政見が異るから喧嘩しなければならないなら參政權がなくとも他の事で喧嘩ばかりして居るでせう」とにかく此不具の制度が改まらない以上日本の政治は發達進歩を望まれないでせう。

埼玉 小笠原嘉子

選擧民の思想が一般に向上したと云はれる今年のこの總選擧にさへ、未だあの忌はしい買收が盛んに行はれたとき〻ます。わけても本縣はそれが盛んであつた由。

全國的に見て、この樣な方が當選されて、いつたい今後の日本はどうなるのかと思はれる一面、こんな立派な方々が惜しくも落選されたのかと思ふと層一層一日も早く婦人が選擧權を得て、よりよき日本帝國をつくり出すべきあの淸き一票を金で賣るにあらず赤誠を以て我々日本國民の眞の代議士を議場に送りたきものと痛感致しました。

廣島 西村ヤス

今回總選擧に貴同盟の御活動を謝します、普通選擧第二回總選擧の結果は以前と異ならず買收情實干渉に終つてゐることをまざまざと見せつけられました、一般選擧民の政治的無自覺を痛切に感ぜられました、殊に文化の中心地帝都に於ける當選者の中に三

木武吉、中島守利あたりが高點を以つて神聖な議會に送られたことは日本の政治に對する國民の信頼を裏切る樣な結果になります、要は國民の政治的自覺を强要してやみません。

長野　赤羽根仙子

總選擧は國民の輿論を代表するに適切なる人格者を選出するを以て正しき政治を行ふことを得るのであります、故に所謂自稱の推薦候補は其當を得ませんことを確信します、從つて正しき政治を行ふには獨り男子のみならず、女子も同樣國民の政治上の權利者として選擧權は勿論被選擧權を獲得せなければならぬと斷定致します。私長野縣第一區に於ける今回の無投票の經過に鑑み右の如く斷言するのであります。

長野　村松とし子

選ぶ者選ばれる者ともに不眞面目なお祭り氣分なのがいやでした、安部さんが落ちる樣な選擧ですもの、それから婦人應援辯士を頼む人の心持、聞く人達の態度もいやでした。

國民全體の政治的自覺を心から望みます。

大分　片桐むめ

今回の選擧には、八萬圓を投じて當選を得た候補者もあると聞きました。なんと驚くべきではありませんか。投票買收の弊害はなほ實際に隱密に行はれてゐるやうですから、いかに信頼すべき人格者でも、金なくば自他共に默過するの外はない狀況です。婦人公民權を與へらるゝも近き將來に迫つてゐますから、その節は我れ〱能く詮考して衆目の見る所、十指の指す所の德望者を推薦して、現代の濁流を洗ひ淨めたいと望んでゐます。

上田　羽中田愛子

既成政黨に對してます〱あいそがつきました、泣落しの演說會、當選御禮のお祭りさはぎ、そして買收。しかし一圓二圓のはした金をもらつて節操なき代議士を議會に送り自分達みんなの生活を暗くする（政治は全民衆の生活を明く幸福にする一手段ですから）人々の相當ある事を考ますと民衆の政治敎育もいまだしの感がございます。當地では無產黨候補としては社民の藤田氏お一人でしたが新聞紙によれば各地で同志うちが演ぜられた樣子、實に惜しいと云ふ氣がします。この前程干涉彈壓が行はれたとは思はれませんのに。でも外國でも無產運動の初期に於てはやはり分裂に分裂をかさねてゐたさうですから一つの歷史的過程としてやむをえない事かとも思ひますが、悲しく思ふ事は日本の無產運動の鬪士に宗敎的信念をもつ人の少いやうに思はれる事實です。英國の勞働運動の健全な發達はキリスト敎の感化故ではないかと思ひます。人の足を洗ふ心、神を對象とする心のかけた運動は何の運動にあれ健全な發達は困難と思ひますが殊に社會運動に於て宗敎的信念の必要を痛感します。兎もあれ私共はよりよき社會を約束する一つの鍵として婦人の心に社會的關心をよびおこし先づ手をつなぎ合ふ事を學び且敎へなければなりません。すでに常識である婦選はその結果として私共の手に握られるでせうとも云へますし、婦選獲得により私共の社會の姉、社會の母としての自覺はます〱强められませうとも申せます、「婦選」の使命。「婦選」讀者の責任も又重いことでございます。

新潟　田中きん

拜復、普選第一次戰よりも第二次戰は確かに選擧民を毒したる

ことを知りました、官權擁護の下に盛に買收戰の行はれたる事實を悲しく感じました、無自覺な農民は官權の擁護するものを最も正しきものと考へて居ります、淸く正しき明るき政治だの選擧革正だの政界の淨化など云ふ言葉は唯一片の形容詞と或種の政治家は一笑に付し去ります、金權政治買收政治を絕對に廢止せぬ以上は淨化は名のみです、只此際最も望ましく考へました事は一般民衆に對して政治敎育を施すと共に小學校邊よりも極めて平易に政治と云ふものを理解する樣敎へ込んで頂き度いと思ひます。此混濁せる政界を淨化するは純潔なる青年の政治的理解に依る正義の叫と、婦人の正しき批判の力に待つ外なきことを痛切に感じました。普選本來の意義など云ふことは、尙前途瞭遠の樣に悲しく感じました。

金澤　芳賀ふみ

あまり色々の感じに打たれてゐますので何から申してよいやら其うち一つ二つを申上げませう。

「金の世の中だ」といふ感がいやに頭の中にきざまれました、二十二日のよるでした、丁度電車に乘合せた六七人の中老の男子皆眞赤な顏をしてゐました其中の一人曰く「腹が立つて仕方ない、だから〇〇氏に入れ樣と思つたのに……此前〇〇氏に入れた時は當選したよ、今度だつて〇〇氏に入れゝばよかつた、君たちがあまりたのむから××氏に入れたらこんな事になつて終つた、やけ酒でものまないでは居られない」「皆御互樣さ」なんて言葉をあたりかまはずはきちらしてゐるのをきゝました、心が重く暗くなりました。

選擧權を持つてゐる男ある政見發表演說會の歸り「今のは政友か民政か」ときいた話をきいてたゞあぜんとして終ひました。

金澤　鈴木芳子

總選擧に際して時の政府與黨が如何に有利の立場に在るかを痛切に感じました。警察權亂用の選擧干涉等、我石川縣に於ける民政黨が勝利を得たるも、その結果より觀て民政黨必しも民意を代表しないとは云はれないが、資本黨としての民政と政友の人氣作用がこうした結果を生じたものと思ふ。

民意の全體を代表するものとしては無產黨よりも候補者のないのは無產黨そのものゝ現在の狀態からすれば止むを得ない事かも知れないが物足らない樣にも感ぜられました。ふりかへつて我々婦選の同志は今一步一般民衆の政治意識の覺醒に盡す必要を痛感致しました。

名古屋　小尾ふさ

重大な國政に參與する議員を選擧する不眞面目さ加減、恰も政友山と民政川と云ふ人氣角力の勝負に彌次馬がヤンヤ〳〵と騷ぎ立てるのと少しも變りやしない。

私共が出したいと思ふ人は落選して却つて妾の二人も三人も蓄へてゐる頭のカラツポの化石した親爺が、平生選擧民に對して小錢の使ひ振りがいゝと云ふのが妙に人氣を取り當選してるのだもの駄目だ、事のない時は金より人物だと誰も云ふが實戰になればやつぱりお金が先に物を云ひますよ、絕望々々。

金澤　米山久子

一、選擧の前日永井柳太郞氏の政談婦人會が開催された、それは老若えらばざるしかもあらゆる階級の婦人を集めた會合であつた、會場立錐の餘地なき盛會急霰の拍手又拍手たる熱狂の聽衆を見るは無論永井氏天下の雄辯なりとはいへ老若共に政治的興

味の起りかけた事は事實として理解不理解の點を問はず決して尖端一部の動きではない。

二、政治圏外より革正を叫んだ事は我々婦人が政治に對する正しき批判の鞭を握つた事であつた、この一過程こそ來るべき黎明潜勢力であらう。

徳島　藍谷絢子

今回の總選擧に於て與黨が多數であらうとは思つてゐたが二百七十余も當選しようとは意外であつた。

此の成績は徳島に於ても同樣で前回と反對に民政四に對する政友二の成績である。

それと共に意外であつたのは無產黨の慘敗である。是は地盤の協定が行はれなかつたのと軍資金の缺乏の爲であらう。此の慘敗に省みて無產黨の陣營內に合同の機運が濃厚となつてゐるが果たしてどの程度迄合同するか、結局は日本大衆黨、全國民衆黨、地方無產黨の三つが合同する位が落ちであらう。

もし婦人に參政權があつたならば無產黨の得票は英國の例に徵して現在よりもはるかに多かつたであらう。

岡山　田崎つる

一、民衆は醒めつゝある、しかし根本的に覺醒するまでにはまだ前途遼遠である。

二、婦人自身の自覺、婦人に對する態度之亦仲々の樣に感ずる。良妻賢母主義が未だに全く家庭を脫し切れないのには情ない。

三、酒と妾の代議士がまだ多いにはウンザリする。

神戸　城ノブ

勞働都市の神戸が無產候補を落選せしめた事を大恨事とす、高潔と信義と熱情を以て無產階級の爲に鬪つてくれる人に一票を有つ身として應援の熱辯が振ひたかつた、早く婦人に一票を獲る爲めに一段努力を捧げませう。

新潟　佐々木まつえ

一、戰時の看護人は婦人に限る
一、實戰に參加せしむる事
一、準備として婦人團を動す方法
一、平時に一層政治的智識の向上につとむ
一、理解ある行爲は男女共力して行ける

熊本　大畑妙子

有權者に稍批判的な傾向が現はれて來たことは喜ばしいことです、しかし部落の傳統にとらはれたり、長老の壓迫にあつたりして自分の眞の意志を表示することが出來なかつた人々の一票は豚がもらつた眞珠よりおしい氣がします。尙ほ買收の聲には耳を覆ひたくなります。

島根　濱本ましえ

(一)正直で、明るく、強く生きようことに努力し眞劍である濱口內閣のため、その與黨たる民政黨の勝利を心から喜ばしく思ふ。この上は勝つて甲の緒をしめて、おごらず高ぶらず、益々眞劍に步いて、國民多數の信頼に値する善政を施してほしい。

(二)政友會の敗戰は、當然の歸結と思ふ。彼等の前田中內閣の橫暴と非道とは、いくらヒイキ目に見ても、天人共に許し難いものであつた。今度の選擧にあれほど上手に不景氣を民政黨の責に歸せしめようとしたが、選擧民は橫を向いて笑つた。小學

校の子供さへも政友會といふ名さへも憎惡した。政友會は、國民の正直なそして當然な制裁に甘んじて、深く省みるがいゝ。この内省のいゝ機會を見失つて、尙何彼と人にも我にも辯解がましいことばかり言つてゐては、唯一步〳〵滅びへの步みを早くするだけのことである。

(三)地方民の政治思想の發達は驚くべきものがある。政談演說の會場の聽者の多いことその質問彌次の正當なこと。そして道行く人々の政見に對する批判の面白いこと。そしてその内に多くの婦人のゐたことなど嬉しいことばかり。わけても、夫や兄や父に對してその妻なり妹なり、母なり子なりがいかに政界淨化のために警戒し、口添してゐたことか。普選第二回の選擧にして、その妻や、小學校の兒童に至るまでがかくまでも政治思想、選擧意識が發達しようとは、ほんとに豫期しないことだつた。もし幸に、女性の上にも參政權が得られたら、どれほどまで女性は向上し、そして政界を淨化するかしれない。

(四)『正しく强く、明るく』といふ最も進步したる目標の下に步いてる現内閣の手によつて當然早晩解決さるべき途上にある『婦選』を解決してほしい、もし不幸にして現内閣が『尙早』などと世迷言いつて『婦選』を解決しきれなかつたら、よしや如何に善政を布いても、その價値は人道的に半減される。進步的で、眞實な、そして正直で實行的な民政黨内閣諸公及その代議士諸君！諸君は斷然目標に恥ぢない行爲を斷行する義務を負はされてゐる實を忘れてはいけない。

群馬　八木橋きい

一、田舍の人達でも投票を國民の義務と云ふ事が追々理解された事は嬉しいと思ひます

二、私共の地方は長脇差の風が殘つてゐる爲めか中立者は人氣がありません

三、無産派もリーダーに人格者があつてよく指導せぬ限り駄目でせう

四、矢張り辯論時代になつた事は痛感します

德島　坂口あさ

現在のやうな既成政黨の選擧爭鬪にたいした感興も持ちませんが、這回の總選擧戰を貫いて一般社會が持前の浮動性を遺憾なく發揮したことを面白く感じました、選擧戰を丁度野球戰かなんぞのやうに民衆が熱狂し、之が新聞紙によつて一層の衝動的煽動によつて興味化された感がします、寄るとさはると選擧の話で持切つてゐますが、それに少しの批判も考察もなく當選そのものに興味中心を置いてゐる――尤も政黨それ自身が當選第一主義なのですが――候補者も有權者も共にお祭り騷ぎに了つたのではないでせうか。

婦選の要求は、まだ〳〵中央一部の婦人の叫びのやうに思はれてゐる事が尠くないのですが、地方の婦人がどの位政治的にめざめ、婦選を希求してゐるかは、本稿を通じて如實に示される事を信じます。而して更に婦選が將來どの方面にいかに行使されるかをも暗示してゐる事は欣ばしい限ではありませんか。尙今回の問合せに對し短時日にこれだけの回答を寄せられた諸氏の御厚志に深く御禮を申上げます。(金子)

女學生は選擧をどう見た？

―田舍にゐた時は名前を日頃知つてゐる人が候補者に出ると、つい〳〵その人が勝てばいいと思つたが、今は父が政友だが、民政黨の方が國の爲になるやうに思ふ。然し緊縮の爲に田舍の山持がどし〳〵倒れると聞き、民政の都會中心を父からきくと何だか政友もいゝやうに思ふ。とにかく誰も困らないいゝ政治をして行く政治家が現はれる様に選擧してほしい。

―イ、總選擧は我々にとつて良い事だと思ふ。

ロ、候補者の中で不正なお金を用ふ人は嫌ひ。

ハ、我々女が選擧に對して、日本中の女が議論出來るやうにしたい。今の女は殆ど家事に埋もれてゐるやうだ。

―一體今の議員はお爺さんだ。もう少し若いてきぱきした、今の學問をした人が出るといゝ。頭が新しく金儲けを考へない人が欲しい。

―私はせめて演說だけでもきゝたい勿論選

明日はいよ〳〵總選擧といふ日に

福井市　南部華子

意外な意外な出來事に出遇つて、私はほんとうにびつくりしました。そして又何とも云へないうれしさを覺えました。そして、婦選獲得も近い內だと痛感いたしましたので、餘白がありましたらと思つて この出來事を有りのまゝに、御知らせいたしたい氣になつたので御座います。私は只今、女學校一年生B組の擔任をつとめて居ります。明日はいよ〳〵總選擧といふ十九日に、月一度の例會である自治會が開かれることになりました。此の自治會はクラス〳〵で自治的に相談會のやうなことをするのですが、この日は校長先生から全校生徒に左の問題を提出されました。

總選擧もいよ〳〵明日となりました。皆さんは、今度の選擧について、どんなことを考へさせられたか？

今日はこの問題について、話し合つてご覧なさいと云ふことでした。これを聞いた千人からの生徒達は、物におびえた時のやうに異狀な緊張味を示しました。(今迄にない問題だからでせう）それから各々の教室に入りましたが、私は廊下を歩きながら心配しました。今日の問題は一年生にはどうかしら？自分達のあの時代のことなど思ひ出して、まあ何でもよい、その時はその時のことゝ多寡を括つて、教室に入りました。會を始める前に、生徒の顔を見るとまた氣になり出しました。あま

擧權があれば倘よい。一般都會では政友會の人氣は悪いし、無産黨は大分人氣がある。私は無産黨贔負だ。又近頃婦人の應援を頼むのが大變多いのに、婦選を與へないのは變だが、これも私たちの生きてゐる間に必ず實現される事と信じる。

―毎日演說をきゝに行くが、政友も民政もお互泥のなすりつこだからいやだ。といつて無産黨もいろ〳〵分れ、雨後の筍のやうに出てゐるので迷はれる。人を招く爲なのか、漫談なんか頼むでゐるのは不愉快だ。選擧をもつとまじめにやつて欲しい。又會には婦人が誠に少い、ゐると思へば女子大學位の人だが、早く婦選が得られて、どしどしその準備時代にとりかゝる樣にして欲しい。(以上文化學院)

□

―うるさい程の候補者の自己推薦に苦笑を禁じ得ない。過去の閲歴で當選の榮を得やうといふいやしむべき聲よ！　日本を世界的に向上さす唯一のものは唯若人の熱と力のみ。神聖なる議場に國民の代表として自已の狹しい點を押し秘して出や

りに乳臭く、あまりに涼しさうな顔をしてゐるので射る的のあまりに遠い感じがいたしました。そこで先づ腫物にでも觸るやうにそつと探りを入れてみました。

1、今度の選擧について、新聞記事を讀んで居つた人は手を擧げなさい。(大部分擧手)

2、今度の選擧について、新聞は見なくとも、見たり聞いたりした方は。(大部分擧手)

この結果を見て、私は先づびつくりさせられました。さうですか、それは感心。つまり今日の問題は、皆さんが新聞で讀んだ時や、又聞いたり見たりした時に、どんなことを思つたかを、お話合なさいといふことです。と云つたら生徒はうなづくより早く威勢よく四、五人が擧手して議長席に坐してゐる級長に發言を求めました。

(生徒の氣持がわかるやうに速記的にかく)

A、候補者が演說をする時に反對黨の悪口許り言ふのは大變悪いことでそんな人には投票しない方がいゝと思ひます。

B、以前はお金を持つて來て、どうぞ私の方へ入れて下さいと、澤山な人が來ましたが、今度はさういふ人が、あまり來なくなつたことは、大變いゝことゝ思ひます。併しまだ少しはありますが、と一寸頸をかしげる。

(それは聞いたのですか、見たのですか、と云つたら先には私見ましたと判り答へる。之れに和して、私も見ました、私はきゝました、と力強い聲で大勢訴へる)

C、いつものことですが、時の政府の政黨に諂つて、反對黨の罪惡を、無理にあ

うとする人、又かゝる者を議場に送り出す國民、共に許すべからざる大罪惡だといふことを自覺めて欲しい。

—政治といふものにホンの少しの知識をもつ私共の心を強くハッキリ打つものがある。それは日本の政界が他の何ものよりも超越して余りにも腐敗し切つてゐるといふ事、たゞそれだけだ。あゝ婦選が與へられたならば！　日本を救ふジャンヌダルクも出現するのではないか。

—厚顔にもさばきの庭に立つた人や、議場で兒戯に類する騷亂を演ずる人、こんなのは悉く葬り去るべし。常道を逸し、腐敗した政治が國に行はれるのは、國民が代議士の選出を誤り、與へられた權利を尊重しないからだ、國民審判の下にといふことを女子審判の下にといひたい。

—あの男ちよつと氣の利いた事をいふとかあの政黨に入つたからあいつを投票しやうなどは絶對にいけない。候補者も候補者で、一かど國の爲とか同胞の下僕とか尤もらしくいつてはゐるが、いざ代議士となつて少しでもそれらしい誠意を見せてくれた人が今迄あつたらうか。國民は

ばき出す人があるそうですが、それは大變惡いことだと思ひます。

D、この前に、民政黨で當選して、直ぐその後に、政友會に變つた代議士があります。それにお金を澤山貰つたのだそうですが、そんな惡い人には皆なが入れないやうにしたいと思ひます。

E、候補者の演説や、應援演説などの會場で、やじつたり、暴行を加へたりすることは大變惡いことだと思ひます。反對黨の演説でも、聞きに行つたら、聞くだけは聽かなければならんと思ひます。

F、或候補者は、こゝは自分許りの出る區域だと極め込んで、他から侵入されると、運動員同士が見苦しい文句の並べ合ひをすることは、止めた方がよいと思ひます。

G、時の政府の反對黨の事務所を、巡査が、殊更にきびしく警戒するのは、自分の頸が危ないからなので、卑怯なことだと思ひます。警戒するのなら、どの黨のも公平にして欲しいと思ひます。

H、選擧を、金もうけにしやうなどゝ思つて、働きに出る人があります。そんなことはやめた方がいゝと思ひます。

I、或候補者は、自分がちと危いと思つて、お金を澤山出したそうですが、そんな汚れた人は、出さないやうにする方がよいと思ひます。

J、候補に立つと云ひふらして人から金を貰うて引込むのなんかは、惡いことだと思ひます。

K、或候補者は、演壇に立つて、泣いて同情して呉れと頼んだことは、男らしく

もつと眞劍になつて人口過剰に、生活難に、又就職難に喘いでゐる自分を救ひ上げて貰ふべく思想的にしつかりした信念を摑んでゐる人を擧げる事に努力してほしい。

（以上三輪田高女）

□

―金を食ふ作州選擧界の惡弊を一掃せよ。
政界の淨化は婦人の責任である。

―婦人の壇上應援は政治への婦人の覺醒だ

―一票のけがれは一國のけがれといふポスターを候補者によませたい。
婦人參政權の叫びがあげられてゐる時、腕を拱いてゐる事は出來ぬ。女性の眞價を一日も早く知らせねばならぬ。

―無智な男子より理解ある女性の一票に力がある。

（以上津山高女）

□

―投票は信ずる人なき時は棄權でよい。

―演說などでは眞實にその人は判らない。

―平常の言行で投票を行へ。

―情誼で選擧權の行使を誤るな。

―無産黨は正しき政黨なり。

（以上京都府立第一高女）

ないと思ひます。演說の時は、泣いたりしないで、眞の實力に依らなければならないと思ひます。

L、今軍縮會議の最中で、各國が一生懸命になつてる時に、政黨の爭で、內輪げんかしてることは、外國に對して、恥しいことだと思ひます。

M、學生同士が、種々の政黨のほんとの善し惡しも、知らないで、感情的に候補者の批評などをすることは、止した方がいゝと思ひます。

N、女にも、早く選擧權を與へて欲しいと思ひます。

（成程――、あなたは、婦人も參政權を得たいといふのですね。他にもさういふ方がありますか。と尋ねたら、ハーイと大部分勢よく擧手。さうですか――、と云つたまゝ言なし。無量の感慨言外に溢れたのでせう、生徒一人殘らず熱した眼で促すやうに私の顏をじつと見つめてにつこり笑つた。先生も大贊成――と云つたらまたにつこり笑つた。）

時間が來ましたからこれで閉會にいたしますが、今日は先生、ほんとうに驚きました。實に意外でした。そうして非常にうれしく思ひました。白狀します。今日は校長先生から折角近來にない面白い問題を頂いたのに、皆さんはどうかしらと實は心配しながら教室に入つて來たのです。ところがどうでせう、この盛況は。先生は皆さんによく昔の學生はと云ふことを申しましたが、この只今の皆さんには昔の學生も、全く顏色なしです。皆さんは、まだ尋常科をすんだ許りの方ですから、政治上の用語などに不十分な點はありますが、こんなに迄細い注意と、理解とを持つて居ろうとは思ひませんでした。やつぱり皆さんは時代の子です。大勢の流れは强い

海外だより（一）

×

イギリスの議會で寡婦年金法が通過した結果、現行法に規定されてゐる國家保險の制度では種々な條件があつて其の恩惠にあづかることの出來なかつた貧しい寡婦五十萬人が惠の光に浴することが出來るやうになつたといふ。

×

イギリスの女はしつかりしてゐるとはいつも、海外だより子の認むるところ。女の市長も珍しくない。事少しく舊聞に屬しようが、去る十一月の市長選擧に十二人の婦人が當選した、そのうち五人が再選、一人は三度目だといふ、いづれにしても目出度い婦人の進出ぶりである。

×

カナダでは、オンタリオ州議會に、議席を爭つた四人の女流候補はいづれも惜敗、然し、アグネス●マクフエイル女史は最初の而して唯一の女流代議士としてカナダ聯邦議會にオンタリオ州から選出されてゐるカナダに於ける女權運動も、益々協力戰で實際政治にどれだけ婦人が進出し、貢獻するかは興味あるところである。

力を押し寄せてることがわかりました。これでは皆さんが要求して居る婦人參政權も日ならず獲得するやうになるでせうと、結びました。(これはつまらない記事かも知れませんが、都の方には、田舍の女學生の、しかも舊弊に育てられてる、北國地方の、それこそほんとうの女子供の頭にも、こんなに迄政治的色彩が濃厚になつて居ることを、婦選反對論者や、尙早論者に、知らせるよい材料だと思ひまして。)

尙上級生の答案をまとめて見ますと

1、吾々も、婦人參政權を與へられて、國政に參與せしめて欲しい。

2、演說會に、景氣でもないのに、景氣だなどゝいふ犬養さんは嫌いである。

3、買收して投票を集める黨派の人を擧げてはならない。

4、老人が、隱居仕事に、代議士にでもなろうとか、若いやりてでも、金もうけをしやうとか、名を賣らうとかいふやうな暇人や、不眞面目の候補者は出さぬこと

5、女や子供に理解ある人に、代議士になつて欲しい。

6、選擧の度に警察の手を煩はすことは恥しいことである。

7、緊縮內閣は國家興隆の基である。

8、大藏大臣の、金解禁のお話を聞いて全く民政黨の考へ方に贊成である。

9、政友會は當座の景氣に醉ふて未來の不景氣に苦しみ、民政黨は現在の不景氣に堪へて將來の景氣を圖る。

10、犬養さんの演說は、試驗前に樂にゐて、學年試驗に苦しむのと同じだし、濱口さんの演說は、試驗前にうんと勉强して、學年試驗に樂にゐるのと同じです。

倫敦軍縮會議（續）

藤田たき

一月二十六日以來ロンドン軍縮會議は紆餘曲折を重ね、今やまた〱行きづまり狀態にある。その一々の問題を列記する事は到底紙面の許す處でないから單に重要なる二、三の問題を羅列するにとゞめる。

縮限の二方式—佛の總噸數主義と英の艦種別主義

一月二十七日英首相官邸に於いて第二次五ケ國全權會議がひらかれた。この會議は未だ軍縮會議の實質的問題にはふれず、寧ろ先づ何を先決問題となすべきかを協議する目的を以つて開かれ、殊に軍備縮限方式に關するフランス案に關し審議を行つた。即佛蘭西は如何なる方法によつて軍備の縮少を來すべきかの方式を先決問題としたい意嚮であつた。この軍備縮限方式には二方法がある。一はフランスの總トン數主義二は英國の艦種別主義である。フランスの主張は先づ列國が保有を許さるゝ軍艦の總トン數をきめてほしい。而して列國はその許されたる範圍内に於いて、自由に各艦種のトン數をきめてよい。即多數の大巡洋艦を必要とする國は、例へば潜水艦のトン數をけづつて融通してよい。また之に反し數多の潜水艦を必要とする國は、大巡洋艦から融通してもよいと云ふのである。要するに佛國は原則として總トン數主義を主張し、軍艦の艦種六種即一、主力艦、二、航空母艦、三、八吋砲を積む大巡洋艦、四、六吋砲を積む輕巡洋艦並びに驅逐艦、五、潜水艦、六、特殊艦とし、之等各種艦の融通は起工前一年前に締約國に通告すれば上から下へでも、下から上へでも百パーセントの融通をみとめてゐる。佛國がかく主張するのは一には對アフリカ政策の必要から、二には佛國は給炭地に惠まれてゐる關係から、潜水艦及び小巡洋艦を數多く必要となし、各艦種間の融通によつて之を獲得せんとするのであらう

しかし其後英國に歩みより主力艦と他種艦の融通は强ひてもとめずと折れて來た。

英國は佛國の總トン數主義に反し原則として嚴格な艦種別主義をとる。即各艦種にわたり融通する事は絕對に反對であつたがその後佛國に歩みより八吋砲巡洋艦より六吋砲巡洋艦へ、六吋巡洋艦から驅逐艦への融通位はみとめることになつた。

右英佛の縮限方式はその後日本より折衷的提案、米國全權聲明、その他を加へて第一委員會附託となり、愼重なる協議を重ねたる結果、大體滿足なる解決を得た。

伊太利比率問題先議を主張す

しかし一難去つて一難また來る。同じく一月二十七日、五ケ國全權會議の席上伊國全權グランジ氏は突如として、佛の縮限方式を議題とするならば同時に比率問題を議題とせよと要求し、佛伊均勢の承認を與へよと叫んだ。即ち伊太利は佛蘭西と同勢力の海軍を要求し、且つ最高限度としては伊太利財政の許す範圍の低い總トン數をきめてほしいと云ふのである。それを具體的に考へて見れば、伊太利は今日の財政上四十萬トン以上の海軍を維持する事はむづかしい。だから佛蘭西も四十萬トンで我慢せよと云ふ譯である。勿論佛國は伊太利との均勢で我慢しない。されば第一次總會に於いても、佛國全權タルジュ氏は先づ第一に佛國海軍が地理的形勢に制せられ、其力を大西洋と地中海に分散を餘儀なくせらるゝ點をあげ、且つ海外植民地の關係に於いては世界第一を誇る英國につぐ交通路をもつが爲に、その警護の任にあたる海軍も大きくなければならぬと力說した。

右伊太利提案の比率問題先議は、各國代表間に非常に不評判であつた。かくして伊太利は危く孤立の立場に置かれやうとしたので、利あらずと見た伊太利全權は、二十八日第三次首席全權會議に於いて、一先づ保留の旨を通告し、全權等は安堵の息をついた。

米國代表新提案を發表す

間もなく全權等は米國の態度急變に驚きの眼をみはつた。米國は今日まで日本、英國が比較的解決しやすき主力艦問題を先議せんとするに反對してゐたが、二月四日午後リッツホテルに於ける若槻スチムソン兩全權の會見の席上俄然持說を擲つて、主力艦問題に對して新たなる提議を持ち出した。その內容次の如し。

一、海軍休息、即主力艦の代艦建造は一九三六年まで延期する事。

二、ワシントン協定の結果によれば、主力艦の隻數を一九四二年までに英、米、日は各十五、十五、九となさねばならぬとなつてゐるが、現在の三國の保有隻數は二十、十八、十となつてゐるから、一九三一年中に之を十五、十五、九となす事。

三、主力艦軍艦トン數は依然として三萬五千トンを許す事

四、併し積載を許す大砲は十六吋にあらず十四吋となす事

右提案についてまた〴〵スチムソン全權は六日午後英米間の折衝が如何なる點まですゝんでゐるかを明かにする聲明をなした。之によればまづ英米兩國は、保有出來る海軍總トン數を百二十萬トンとなし、次に久しく問題となつてゐた兩國巡洋艦勢力につきては、英國八吋砲巡洋艦十五隻、アメリカ同じく十八隻とし、大巡洋艦に於いてアメリカが三萬トン多くなる代り、小巡洋艦に於いてはイギリスに四萬二千トンの優勢をもたしめ、合計トン數、英三十三萬九千トン、米三十二萬七千トンとせん事を希望してゐる。潜水艦につきては全廢を希望するも、若しそれが許るされざる場合に於いては商船攻撃に關ししつかりとした規約をもうくる必要ある事を説き、更に日米關係に言及しては兩國の過去に準じ、各艦種につき同じ比率によらん事を、求むるにはあらずと述べてゐる。

尙別報によればアメリカ全權リード氏は五日グローヴナ、ハウスに若槻全權を訪問し、水上補助艦に關するアメリカ案を手交した。これはA、B、兩案からなり、絶對に比率と云ふ文字はつかつてないが「比率の語を避けて巧みに六割を我が日本に割當てる物として日本人間に大變に不評判である。

A案

イギリス　八インチ巡洋艦十四萬六千八百噸、輕巡洋艦十九萬二千二百噸、驅逐艦十五萬噸

アメリカ　八インチ巡洋艦十八萬噸、輕巡洋艦十四萬七千噸、驅逐艦十五萬噸

日本　八インチ巡洋艦十萬八千噸、輕巡洋艦八萬八千二百噸、驅逐艦九萬噸

B案

イギリス　八インチ巡洋艦十四萬六千八百噸、輕巡洋艦十九萬二千二百噸、驅逐艦十五萬噸

アメリカ　八インチ巡洋艦十五萬噸、輕巡洋艦十八萬九千噸、驅逐艦十五萬噸

日本　八インチ巡洋艦九萬噸、輕巡洋艦十一萬三千四百噸、驅逐艦九萬噸

米國全權の提案並びに聲明書は、果してロンドン會議の靜寂を破り、イギリス政府も七日附聲明書を發し、佛國政府も總トン數八十萬トンを要求した。

日本代表亦具體的要求提示

こゝに於いて帝國政府も十二日米國全權に對し軍縮の具體案を提示すると共に我軍縮聲明書を發した。その內容は次の通りである。

一、帝國は恒久平和の爲海軍々備の全般的縮少と實現に對し、全幅の協力をなさんとする決意を有するも、國防の爲め必要なる勢力はもたねばならぬ。

二、縮限方式に關しては英佛の中間

三、主力艦に關しては

A、單艦トン數を二萬五千トンに引きさぐる事を要求する。(元來主力艦の單艦トン數が漸次增大して三萬五千トンまで達したのは、備砲口徑が大きくなつたからで、逆に備砲口徑が十六吋から十四吋にひきさぐる事となれば當然單艦トン數もひきさげねば軍備縮少の意も通じねば經費節約にもならない。)

B、備砲は十六吋から十四吋にする事贊成し、艦齡を二十年から二十六年に延長をのぞむ。(つまり古い艦で辛抱するわけ。)

C、一九四二年を繰り上げて一九三一年に英、米、日の主力艦を十五、十五、九の割合になす事は贊成。

四、潜水艦に關しては、島嶼よりなる日本にはどうしても現有勢力(七萬八千トン)必要。しかし潜水艦の使用方法に關しては人道的規定の採用に協力すべき事。

五、補助艦は從來繰り返したる通り、他關係國の保有の力に對し、適當なる比例の海軍力を保有する爲必要なり。(即ち七割の語なきも對米七割要求は絕對である。殊に八吋砲をつむ大巡洋艦に關しては。)

二月十七日にはこの日本側からの聲明を骨子として日、英米、三ケ國首席全權會議が行はれた。之は實にはじめて三國のみで一堂に會し主要なる具體的問題を討議したものであるしかし之も結局我が從來の主張、七割說の反覆に終り、新しき協定を見る事は出來なかつた

軍縮會議行詰る

かく各國の要求、聲明も出揃ひ、軍縮會議は漸く高調して來たときに當り、我等はフランス內閣總辭職の報に驚かされ

た。十七日夕下院に於ける二八六對二八一の敗北の爲タルジュ内閣は總辭職し、軍縮會議は各國主張の懸隔、殊に佛の强硬なる八十萬トン要求、日米間の七割問題の行きづまれる矢さきとて之を機會に二十六日までの休會を宣した。

二十六日再び全權會議は開かれた。政變未だおさまらざる佛國全權の出席を見る事が出來なかつたが、英首相マクドナルド氏は行きつまりに陷つたロンドン會議の現狀を打開して議事進行をはかる爲會議を日、英、米の海洋國體と英、佛、伊の歐洲國體の二に分けそれ／＼關係事項を提議し、大體の調和點に達した上で五ケ國の總會にかけやうと提議した。爲に軍縮悲觀論者は早くもロンドン會議の失敗を云々し、また佛、伊を除外して愈々三國會議となるらしいと一大センセーションをまきおこしてゐる。

はたまた米より日本に對する第二提案あらんの聲も海を越えて聞えて來る。はたして日本全權を滿足さするに足るものか。今後軍縮會議の進捗、或は停頓、共に刮目して見るべきである。

（二月二十七日）

陣中訪問記

A記者
B記者

──今のいくさには、御臺所も陣中に出張つての大童ぶりを選擧の終つたけふ日には、聊か新鮮味も欠く嫌はあれど、當落窮りては、又自ら別の趣もあるべしと、かくは──



宮崎白蓮夫人

風までがやけに砂塵を叩きつける本所、大きなカハウソの衿のトンビを膨らんだ成金のやうな、醜悪な建物國技館裏の二階を間借してといふと、相手が輝ける銅御殿の匂ひやかな筑紫の女王であつたゞけ、話の艷にはなりさうだが、どうして旅館のやうに結構な、それも二間三間ではない。違ひ棚には必勝を祈るところのお禮に鰹節の箱が並んでゐるのは、何の御幣か。昨夜は夜店に短冊を鬻ぎ、今朝又早く事務所廻りをして來られたといふ。夫人は余く爪を切る暇もない忙しさと見える。

「私のとこなんか、皆手辨當で働きに來て呉れます。寄附も澤山ありますし、今にかへつてこつちが儲かるくらゐでせうよ。

壓迫だの干渉だのそんなこと少しもありません。巡査なんかだつて皆同じ階級なのですからほんとに考へてゐることは一つです、ですからよく解つてゐて親切にして呉れます。」と。

ものみなに善と美を見る。夫人は昔ながらの白き蓮の花、心麗はしき藝術家でいらつしやる。（A）



安部駒子夫人

それは選擧を三日後に控えた月曜日の午後二時。簡素な應接間に陽ざしはいとも靜かである。廊下を隔てて謹厳な安部先生のお聲が聞えてゐる。御在宅だ。駒子夫人の物靜かなおだやかな應接に記者は自ら頭が下る。安部先生は何といつても大丈夫でございませうからゝ言ふと、さすがに温順な夫人の眸が輝いて、いえ何とも分りません、宅では主人が至つてのどかな氣持ちでなにベースボールだつて勝つ時もあれば負ける時もあるからなどゝ申しまして、只、毎日其日に與へられる事だけを忠實に一生懸命に致しますだけですと云はれる。運動も只表面のことばかりで、毎日先生が演說會に行かれるだけであるといふ。一昨年先生が大病をされた時には、もう此世の人とも思はれなかつたが、然し若し、未だ此世に自分の爲すべき仕事が有れば必ず命を與へられるといふ信仰によつて先生も御家族も治癒に努められたといふ。

夫人は、宅では、盆も正月もございません、只毎日毎日與へられた事を忠實にしてゆくだけですから、選擧の時も同じで、支持して下さる皆樣方の御厚意を充分に感謝しつゝ日每一生懸命に致すだけでございますと言はれる。（B）



阿部靜枝夫人

此度は婦人の方達の間にも、盛んに選擧革正が叫ばれてゐるやうですが、その効果など一向期待出來やうとは思ひません。

既成政黨の人達は、てんで頭から婦人を馬鹿にしてかゝつてゐるのですから、口では何とでも立派なことを言いませうが、結局當選するまでの口實に過ぎないでせう。演說會などでも婦人が立ちますと、きつとからかひ半分で迎へますが、あの態度

です。興味以上には出ないのです。そこへゆくと無産黨の人達は眞面目で、全く對等に婦人を認めてゐます殊に若い人達の頭の進んでゐるのには驚かされます。

選擧革正にしろ婦人參政權にしろ、眞にそれ等を望むのなら皆無産黨に投じてこれを支持して下さることだと思ひます。婦人が婦人だけで働いたところで一向埒の明かない話だと思ひますから。

先夜友達の應援で『婦人辯士の夕』を催した歸り、寒いので汁粉屋へ入りましたが、車でお送りする代を私が支拂はうとしますと違反になると言つて皆さんで出して下さいましたが、これからの選擧はすべてこの調子で行きたいと思ひました。——とは社民黨候補の阿部温知氏夫人靜枝さん。（A）



永井次代夫人

香を焚きこめた洋風の應接間には暖爐の火が音をも立てず靜かである。選擧もあと三日といふ二月十七日の午前十一時である。郊外戸塚の永井柳太郎氏邸は主を戰線に送り出した留守宅の緊張した靜けさである。賢夫人として知らるゝ次代夫人は飾らずてらはず迫らぬ態度で語られる。永井氏は金澤である。第一回の時は印刷物なども全部東京で作つて準備致しましたが、今度など、全部金澤の方で致しますのでこちらでは只何かと心遣ひを致すだけです、と言はれる。金澤では永井氏が行かれる度に婦人の爲に演說會を催されるといふ。實際保守的だと云はれる金澤の婦人達の近頃の覺め方はどうだらう、と、そんな事を結びつけて考へる。金澤あたりでも近來選擧に及ぼす婦人の力は全く侮り難いものがある、夫を獲ようと思へば先づその妻君を說かねば駄目だとはさる政客の打ち開け話だといふ。

永井氏は一體座談會といふものは兎角話が徹底しないので大嫌ひで、どちらの座談會もお斷りになるといふのに、先達の婦選獲得同盟のには珍らしく出席して而も一人舞臺で種々と話して居られるが、その晩歸られて夫人に「あそこのだけは出て來た」と言つて居られたとのこと

婦人が政治に次第に實際に參與して行く姿を次代夫人は確かに見究めて居られる。（B）



堺ため子夫人

第一區から東京無産黨公認で出馬のわが堺先生の爲子夫人、たゞもう食事の仕度に追はれてゐて、つい目と鼻の間の事務所さへ、まだ一度も覗きません。何しろ三四十人の運動員ですから、お米は一日一石以上、お菜も金がかゝらず、手數が省けて美味しくて澤山あるものといふやうに欲張るので、これが一苦勞ですが、金のある方と違つて其の方の心配が一通りではありません。臺所は私と、もう長く家にゐる者との三人だけですが今度は娘があんな譯で、少しも手傳はないので、よけい心忙しく思ひます。別に親子の間の氣持が、どうのかうのといふわけではなく、娘としては、此方の運動員の方達の手前といふやうなものがあつて少しも顔を見せないのでせうが、まあ選擧が濟んで、早く昔語りになるやうにと思つてゐることでございませう。

演說會場には必ずついて參りますが、寒い晩は聽衆の皆様のお身體が案じられてなりませんこの寒さに莫蓙や新聞紙の上に座つて熱心に聽いて下さるのを見ると、全く胸が一ぱいになります。（A）



今井邦子夫人

選擧當日の朝である。

銚子、香取、佐原あたりを中心とする千葉縣第二區から立つた政友會の今井健彦氏の激烈な戰場はまさに互角の戰ひである

それでぢつとして居られず、夫の當選を希ふ妻の一筋な愛と祈りを以て千葉縣に出かけた邦子夫人は、昨夜遲く歸宅しましたと言ひ乍ら、如何にも元氣に語られる。夫人は、人も知る女流歌人である、歌を詠み文學に耽る以外政治は大嫌ひであつたが今度の夫君の激烈な戰ひに自ら演壇に起つて實戰に參加して、初めて政治に心を寄せ、選擧の面白味をも感じたと言はれる。たゞ家に引込んで居ると末耗的になり兎角心が暗くなりますがそれよりもぐん〳〵實際に活動するに限りますとて千葉縣の人々の選擧に熱のある事、殊に現代青年の政治的自覺の頼母しさ有望さを語る夫人の眸は明日の開票日を前にして輝かしく緊張してゐる。

邦子女史の佐原事務所へ寄せられた歌は

土を耕し魚を捕りてたつきする人に選ばる幸を祈らん

とある。又神崎町の素封家で人格者として名望ある寺田憲氏は正岡子規とも交友深い人であるが、「心の花」時代からの交友である夫人の涙ぐましい計りの夫君應援に感激して夫人に二首を贈られた

君を知る人皆君の心知る數多は君に心寄すべし

逸り氣の女に非ずこゝに來て雄叫ぶ君が心をぞ思へ（B）



大山柳子夫人

邸前も邸前、御門の正面に素晴らしく大きな鷄小屋が出來てゐる、人、行人に教えて曰く、門の入口に鷄小屋のある家だ、と。「生みたての玉子、百匁四十錢」と墨痕あざやかに認めてある、市價より十錢か十一錢は高いが有志はそれを有難く買はせて頂く。これはもともと、大山氏の要心棒氏の暇潰しと趣味と小遣取りのために始められたものだが今では其人は國に歸り、柳子夫人の愛に育てられてゐる可愛らしいものでございますよちゃんと知つてゐて肩にとまつたり手の上にのつたりいたします、でも近頃は忙しくて四度が二度になつたりして可哀さうです、と言はれる。

東京の第五區は無產黨の大山郁夫、加藤勘十、松岡駒吉氏等を交えて火花を散らす激戰地である、從つて滿都の興味を惹くの觀がある。

柳子夫人は、全被壓迫民衆のためにと大童になつて奮闘する夫君を何時如何なる運命の手に委ねようとも驚かぬだけの覺悟と決心を持つて居られるらしい。

昔を知る者には涙ぐましくなる程の質素な室内に、ふと見れば吸入器がいつでもすぐに使えるようにしてある、聲を涸らして夜遲く歸る大山氏を想像出來よう。

今度の選擧では、知人はもとより、見も知らぬ勞働者が食を割いて送金して來たり、五十圓の月給の中から五圓送つて來る人、今は病氣で金が無いけれどもと二圓送つて來る人、有名無名の熱心な支持者が有る。

その日も、夜十二時過頃でなければ歸らぬ大山氏に、揮毫を頼むのだといつて二人の紳士が待つてゐた。夫人の油繪もパーラアを出でて夫君の財と共に軍資金にあてられるのである。（B）

女工賃金不拂問題について
婦人監督官落合節子氏を訪ふ

森　鑛

全國製糸工場の八割に上る工女賃銀不拂問題、そのよつて來るところは暫く置き彼等製品業者の專橫なる不法行爲の下にうごめく全國三十數萬の女工、その當面の保護者たるべき監督官廳の意嚮は奈邊に存するであらう。

內務省社會局では各府縣の工場課と聯絡をとり、工女と工場主との鬪に立つて

一、至急賃銀の支拂をなすこと

一、賃銀は他の債務に優先して支拂をなすべきこと

の二點から賃銀支拂を警告し、目下各府縣の工場課員はこれがため東奔西走中であるといふ。しかし昨今の糸價不況にのみこの問題を歸すべきでないことは勿論、その原因こそ所謂「社會局の諒解」なるものに求めらるべきではないかと思ふ。そこで日本に唯一人の婦人工場監督官落合節子氏を社會局にお訪ねして、御意見を伺

なぜ製糸女工の賃銀不拂が起つたか

卅五萬人の製糸女工が、當然受取るべき去年下半期の賃銀を、殆ど八割まで不拂にされた事實は、なぜ起つたのでせうか。

これはいふ迄もなく、製糸業の不況に基きますが、なぜそんなに製糸が不景氣なのかといふと、理由はいろ〳〵あるのです。第一に日本の製糸業は、大正八九年の好況時代の夢をあの關東大震災に破られました當時橫濱にあつた生糸が六千萬圓も燒けて了つたのです。ですから大正十二年から十四年にかけてのわが製糸業は凡そ二億圓の損失を示す事になり、その後一進一退であつたものが、今度の金解禁で全くみじめな立場に立つたのです。

つまり金解禁が行はれたので、貨幣價値が騰つて對外爲替が復活したといふ事が大部分を海外に輸出する生糸には、その代金として外國から受け取る金が今迄より少くなる勘定になるのです。

その上に生糸の一番澤山賣れてゆく先のアメリカは、近頃株の大暴落があり、非常

うて見る。氏はまだうら若い、そして宮さまのやうにきちんとされた方である。

「これはもう長い間のことで、何も昨今に始つたことではありません。女工の賃銀は毎月支拂ふといふ規定ですが、實際は殆ど全部の工場が年末に一度拂ふか、春びき終了後の五月末にざつと精算して、あとは年末に支拂ふかしてゐるのですが、帳簿の上だけではきちんと支拂つたことにして、給料預金とか又特別に工場課の諒解を求めた上で工場主が管理するとかしてゐますから、それが工場の運轉資金や其他さまざまに流用されるわけです、私などが検査に參りましても勿論不意に行きます中には賑やかに先ぶれして行く人などもあるやうですが——帳簿は勿論貯金の通帳などでも皆きちんと合つてゐるのですから少しも文句を言ふ餘地がありません」と苦笑される。

　女工の賃銀ほど不明確なものはなくて、自分で自分が幾ら貰つてゐるのか、明確に知つてゐる者はないと言ふ。そして三年目の熟練工でもたつた二十六錢しか貰つてゐなかつたといふ話もあるさうだ。それは分らない仕組になつてゐるといふよりも、賃銀裁定が非常に複雑で糸格、セリプレーンの検査などの關係からわかつてゐるのは工場主だけといふことになるのださうである。だからそこにも工場主の自由裁量の餘地はいくらでもあるわけで、勝手に賃銀の切下をしても女工達にはわかる筈はないのだ。

「ひどい工場になると、女工の毎月のお小遣で即ち賃金内拂のお小遣ひですね、それを貸金として高い金利をつけて引去るのですから、全く二重三重の搾取ですね。」と被仰る。

な不景氣風が吹いてゐるので需要が減り、その爲に糸價は安くなるといふ、二重の打撃を蒙つた次第なのです。

　現在糸價は百斤につき一一五〇圓から一二五〇圓、好況時代の四三六〇圓に比べて約四分の一の暴落です。そこで

糸價吊り上げの問題

が起つて來るのです。

◇

　製糸業者によつて組織されてゐる蠶糸組合中央會では、糸價維持對策として、去年の十一月に、次の三つを決定し、直ちに組合員の實行を强要しました。

一、繰業短縮（半ケ月間の繰業休止）
二、五萬梱の共同保管
三、二割封印實行（二月一日より五月末日迄）

　なるほど、安くて賣つても金にならない生糸をやたらに作つては引き合はないから半ケ月休み、又在荷買メと同樣の效力を有つ共同保管を强制的に行ひ、更に釜數の二割だけ封印して當分糸を取らない事にすれば、大分算盤は合つて來るかも知れません

そのお小遣ひは一ヶ月一圓五十錢から二圓くらゐまでで、それも女工が要求してくると例の消費節約で、工場主は見事撃退してしまふので、溫和しい女工さん達はお小遣ひも家庭送金もせい／＼儉約するのださうである。

元來女工の賃銀は一日二、三十錢から六七十錢多くて一圓、月に十數圓から三十圓どまり、一ヶ年に七八十圓から二百數十圓、最高で三百圓の稼ぎ高だといふ。その中から前借（此度からこれも廢されたが、五十圓も前借出來るのはその娘さんが行けば、お友達が幾人もついて來るといふやうなリーダー格のみに限られ、普通は十圓にも足らなかつた）運動會費、一ヶ年の小遣ひ其他の差引殘高が彼女等の手に渡されるのだが、これが彼女等の家庭の生計費の根幹になるものであらうことはいふまでもあるまい。それが不拂、延期、一部未拂になつたのである。年末に袋を開けて見たら、五圓しか入つてゐなかつたといふのはまだいゝ方か。旅費以外一文の賃銀をも支拂はなかつた所も少くないといふ。それでも女工の父兄達はあきらめがよくて、自分の娘が働きがないのだと思つたり、今に拂つて呉れるだらうと當てにしてゐるさうである。中に遣り繰りのつかぬ父兄が、娘が年末に貰つて來た金五圓を旅費に、工場に談判に來て見たら工場は株式何々會社と名義が變更されてゐて、會社が變つたのだからもう駄目だと突つぱねられたといふ例も數多いことであらう父兄でさへこの通り、まして善良な女工さん達は工場長か監督から、一部拂の釋明を聞いて工場主に同情して泣いたさうだ。

「ほんとに何といつたらよいのでせう。奇麗すぎるほど奇麗な氣持なんでせうねえ。」

然しこの結果が直ちに、二割（七萬人）の失業者と賃銀の切り下げ、不拂を産み出して來るのです。

唯さへ金解禁、産業合理化などの現内閣の政策が、失業者を増加させつゝある、その人々は政府の歸農政策で、村に歸る事を餘儀なくされる、その村は村で、繭は作つても元値も取れず、娘達は工場から素手で戻つて來るといふ、全く農村は沒落の急坂を下りつゝあるの實狀です。

この不拂金額は長野縣だけでも二十萬圓に上りましたし、この工場法違反を行つた製糸工場數は、全國の製糸工場三千三百の過半數に上るといはれますが、これが製糸業不振の爲に、實際拂へないのばかりではなく、目下女工の募集期に際するので、その再招致策としてこれを利用したり、或は糸價補償法の發動を促す心組で計劃的に、不拂とか延期とかいふ手段を執つた向も尠くない樣子なので、長野縣あたりでは春びき開業迄に解決しない工場に對しては、行政處分で工場主の任意貯金管理を取り消し、賃銀の運轉資金代を途絶せしめやうとしてゐるやうです。

氏と私とは笑へもしない氣持を無理に笑つた。そして下諏訪あたりでは、外で遊んでゐる子供はお腹が一杯なので、ほんとに空いてゐる子供はこたつの中で寢てゐるのだといふではないか。

中には警察に押かけたり、生糸の差押へをしたり、失業を恐れて操業短縮に反對の叫びを擧げた女工達もあり、町長が縣に陳情して來たのもあるといふが、それはほんの一部で大部分は依然あきらめと沈默の中にあるといふ。

「今度なども、事實資金難で賃銀の拂へない工場もあるのでせうが、支拂能力がありながら不拂の向も少くないやうです。賃銀をその債權者であるところの溫和しい女工さん達の干與出來ない方法で、一方に管理させて置くのですから、轉用使ひ込みの出來るのが當然で、全く人情としても許せないと思ひます、もつと嚴しく法は法として執行されなければ無いと同じことです。今度かうして問題になつたことはかへつてよかつたと思ひます。こんなふうに考へるのは決して私一人ではありませんが、何しろお役所の仕事ですし、それに其處に働いてゐるものが、自分勝手に何が出來るといふわけのものでもありませんから。隨分情實もあるやうで、現に長野縣あたりでは、餘り嚴しく取締つたために、土地の有力者である製糸業者達の反感をかつて、遂に失脚したといふ話などを聞いてゐます。」

「ほんとに、切角法制の附與した最低限の安全率までが、結局あつてないやうな狀態では何時までたつても働く者の浮ぶ瀨はありませんね。此度こそ政府は誠意を以て工場法の精神を實現して見せて貰ひたいものだと思ひますが、なか〳〵難かしいことでせう。」

◇

とにかく全國二百十六萬五千餘戶の農家では近く蠶繭の掃立を開始しますが、その相場は、この製糸業不況の爲に、前年に比し三、四割方の安値を示す勢にありますから、農村は益貧窮を極める他はなく、一方糸價は連日新安値を辿りつゝあり、政府は糸價補償法の如き、金力による一時保護策を取るよりも、產業合理化に伴ふ根本的の企業改善を計らうとする態度に出てゐますから、春引開業の見込みが立たず又資金難で休業する工場も小工場に相當あるらしいので、織手よく日本の國富を支へて來た我が製糸女工も貧しい農村の娘として、弱い婦人勞働者として、全くその悲慘な境遇を打開する光明さへ見出し難い現況にあるのです。

何事にまれ、犧牲のない仕事はありますまいが、金解禁の前にこんなにも大きい、悲慘な犧牲の橫はる事を知らずに、徒らに現內閣の施政を謳歌する事は、盲目のそしりを免れないのではありますまいか。婦人はまづ政治を視、知らねばならない感は今更深いのです。

「私は輿論を起すことだと思ひます。」とはつきり言はれる。私はこの優しく、しかもしつかりとした氏を女工達はきつと頼もしく見ることだらうと思つた。

「澤山來て呉れゝばいゝと思ふのですがあまり投書など參りません。視察などに參りましても第一工場主側で警戒してゐて傍へ寄せつけないやうにしますし、女工さん達も妙にお役人だから怖いと思つてゐるらしいのですが、私はあなた方の味方だと話してやりますと、小さな子供などは何でもよく話して呉れます。前には實にいろ〳〵な事がありました。御飯の中からみゝずが出たとか、貞操が脅やかされるからどうかして呉れとか。でも近頃はさういふ方面は隨分よくなつて來たやうです。

と、話された。氏のやうにかうした方面にまで婦人の地位を得られたことは、婦人の力の擴張を示すもので力強い存在である。

◇……補　遺……◇

落合節子さんは、日本でたつた一人の婦人工場監督官です。日本女子大學出身のまだ二十代の若い方ですが、流石内務省が最初のこの任に撰んだ方だけあつて、そのお仕事は地味でまじめで定評があります。

森さんはこの訪問後病臥して了つて本稿も床中で記された程なので、本月號には氏の輕快な時事漫畫に惠まれなかつた次第です。何卒御諒解下さいませ。

政戰の渦中に投じて

八木恭子

第二次普選の渦中に旬日餘を過しました感想は、只もう一日も早く婦選を獲得して、その力を以てその實行力を以て選擧にのぞむ事が必要だといふ一語に盡きてゐると申すより外ありません。

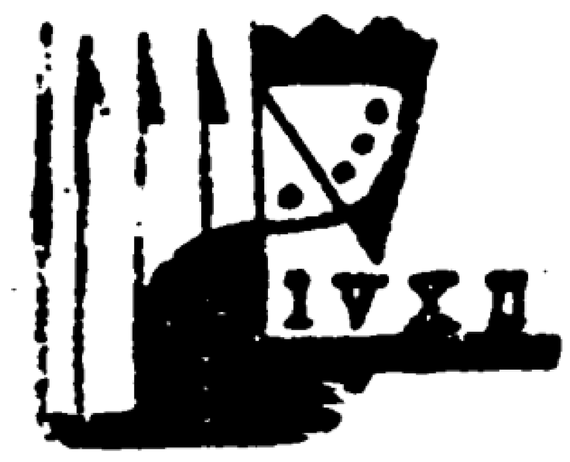
が同時に又、婦人がこうした運動をする事は、確に時代のトップを切る事であるだけ、一般の注意を引き易いといふ事に先づ考を措く事が必要だと思はせられました。

即その言ふ所行ふ處の悉くが婦人の本分に出發し終始する事を忘れてはならぬといふ事も、亦婦選の運命に重大な影響を持ち來すものだと言ふ事を見逃す事は出來ないと思ひます。

其の最もよい一例を申し上げるならば、私は演壇に立つた二三日の演説材料を、一般の政治問題に取つて居りました。即兩大政黨の黨費選擧費の解剖と、特殊財閥との關係の密接なる點より、減税は言ふは易く行ふは難き理由を述べ、或は賣勳事件疑獄事件の因つて來る既成政黨と政商との利權交換條件に付きての説明と批判を加へて見ましたが、一日偶然それが他の辯士と重複しましたので、無據俄か思ひ付きで母親の立場より即母性愛より出發して、現時の政界革新の必要を述べ、彼の賣勳事件や疑獄事件が、青少年の思想上に及ぼす害毒の甚大さに論及し、私が平素家庭に於て三兒に致ふる言葉を、それによりて悉く裏切られし悲痛さを訴へ、譬へ現時の婦人と子供が選擧權は與へられなくとも、政治の力の支配を受けずには一日も生活し得ざる事實を述べて、婦選なき不合理をときました處、之は非常なる高評と喝采を以て迎へられました事實に見て「是なる哉」を叫ばしめました。殊に私が言葉を軟げ丁寧にすればする程同情を引く度の深かつた事を聽衆の間に見出した時に、婦人の使命は男子の領分を凌駕する事に非ずして、其の本質に基く使命を活る事の聰明である事を痛感させられました。

又私は播州の山奥にはいり込みました時の出來事で御座いますが、ズット田舎に參りますと必ず何政黨の地盤といふ堅固なものがあつて、そこには他の政黨の者は容易に演説會も出來ない位な處があります。皆樣は普選の今日まさかと御思ひになるでせうが、ウッカリ演説會を催しましても最初から妨害の目的で組を組んではいり込み、演説が始まるや絶えず拍手を送つて話の聞き取れない樣にする、臨官の警官が之を制しようものなら、手に手を取つて一人殘らず退場し、流會にさせるといふ例はまだ二三日前にあつたといふ話を聞かされました。こうした場合にも婦人辯士を出すか候補者の政見發表だけは神妙に聞くといふので、早速私が會場に顏を出しますと、忽ち場内は水を打つた靜けさに返りました。それ等の人の見る婦人辯士は半ば好奇心にかられ、半ば女優を見る積りで、演説を聽くといふのではなくして見に來るといふ譯で、幸に最後まで話をきいてくれました。そして聽衆の曰く「婦人辯士は只どうぞお願み申す」といふ挨拶かと思つたら婦人が政談演説をするとは感心だ、男の辯士より公平だ、全くあの通りだと感心して歸つたと村の人からきかされました。こうした經驗は二ヶ所に持ちました。「女ならでは世のあけぬ國」とは我が國情をうがつた古今に亘る名言だと思はせられました。神戸などでも婦人の政談演説の珍らしさを語り、市井の民衆食堂などでの噂さを聞きますに、日本もあれ位家庭婦人で政治の知識を持つた婦人が出て來たなら、もう婦選を與へてもよいといふ人もあれば、下手な既成政黨の人に投票を入れるより、あゝした婦人に參政權を與へて政治をやらせた方が國家國民の爲になると迄話し合つて居たのを情報部の人からきかされました。

こうした事實に見ましても、機會を提へて婦人を認めさせるといふ事が、婦選の促進にいかに有効であるかをつく／＼思はせられました。



婦人界展望

▽婦人團體の總選擧戰

已報の如く、總選擧に對する各婦人團體は選擧革正一本槍で進んだ婦選獲得同盟の他は、多少に不拘、應援演說に戰場に向ひました。

婦人矯風會では、廢娼、禁酒の二方面に贊成の候補中より推薦者を決定して各地に應援に赴きましたが、その著しいものは、東京の田川大吉郎、岡山の星島二郎、和歌山の松山常治郎氏などで、久布白、守屋、千本木の諸女史が馳せ向ひました。奈良の日本民衆黨(地方無產)の江藤氏の如き無產黨の候補にも禁煙、禁酒の同志として守屋女史など大に援けました。

前回には立看板まで出して大いに淨化運動に働いた東京聯合婦人會は、今回は殆ど何等のなすなく、個人的に應援に赴く他は唯聯枝會に於ける選擧問題研究會の程度に終つたが、彼の全關西婦人聯合會では、最初は、今回の選擧には、起たぬ方針であつたのを、會員の熱心な希望で遂に選擧革正運動に蹶起する事となり、左記のビラを十五日大阪市內で三十萬撒くと共に、同樣の大看板百本を市內目貫の場所に立てゝ大に市民に警告しました。

有權者諸氏に訴ふ
次の條件を備へた
候補者を選出して下さい

國民全體の福利を代表し、その政策遂行に勇敢でしかも紳士として尊敬し得る人格の人。
清き一票を金で誘惑せぬ人。
情實でからみついて來ぬ人。
婦選の實現に努力する人。

婦人界片々

×

政戰三旬。婦人辯士も疲る。その婦人辯士評されて曰く あげな女、マネキンみたいなもんや、所でそのマネキン孃、已成政黨の幹部連から大に招かれて全國に馳け向つたとは勿論婦人辯士に、ピンからキリまであるにしても、怖しきは時代の力なりけり。

×

時代の力は、大丸當の、耳かくしの美しき女性をして、軍資金調達に選擧本部に押し寄せしむ。かくて又婦人の力の偉大さは仰々しくもてはやさる。

×

かゝる折しも婦人雜誌、政戰の塵に聊かも染むなく、げにあえかに美しく泰平に、結婚、美容、戀愛、貞操――。孃にさへ、モダン孃、野球孃、ラグビー孃のある世なるを。

×

全關西聯合婦人會

婦人參政同盟の幹部員は島根縣から立つた原夫次郎候補以下各地の婦選贊成者に應援し、山根菊子氏の率ゆる女子參政協會なる團體は、青森地方を初めとして各地政友候補を應援する一方、速成の婦人辯士は各地各黨派に派遣せられ、前回より遙かに多數の婦人辯士が、全國の山野に馳せ向つたのでした。

又東京の婦人市政研究會は、二月一日立候補者座談會を催し

一、現内閣の政策に對する意見(贊否)
二、候補者所屬政黨改造意見
三、總選擧に民衆政治敎育の徹底策
四、市町村婦人公民權の最初の附與案
五、候補者獨自の意見

などの話題で懇談しましたが、各派の人々が十餘名出席、中々話が沸騰したやうです。

▽無産婦人團體の總選擧鬪爭

右翼社會民衆黨を支持する社會民衆婦人同盟は已報の通り、赤松明子、同常子、山田やす子、山本たね、砂塚よし子其他の人々が、同黨候補の爲に、各地に轉戰し、就中赤松常子氏の如きは、東京と大阪の應援に往來の時間を惜しんで、飛行機を用ひたりした奮戰ぶりでしたが、選擧の結果は、餘り同黨の勝利ではありませんでした。

日本大衆黨支持の無産婦人同盟は舊全國婦人同盟系の岩内とみゑ、織本貞代、菊川君子、同靜子の諸氏に堺眞柄女史も加はつて各區に亘る推薦演説に總出の奮鬪ぶり。殊に眞柄女史の如きは、主張の相違から東京無産黨より出た父利彦氏と對立した自黨の河野密氏を應援せねばならないといふ立場に立ち自ら感情の清算に苦しむといふ赤裸々な感想なども發表されました。同黨候補で見事當選した松谷與二郎氏の爲には、日本紡績勞働組合婦人部員が事務所内の應援に多數參加しましたし、大阪には勤勞婦人同盟といふのが出來て、大衆黨、全民黨の應援に立ちました。

春淺き丸ノ内に、求められる限りの男に、率直に從ひ、然も一文の報酬もうけないといふ美貌のダイピスト現はる。相互扶助、彼女はかくいふ。大和撫子も一九三一年にはこんな色にさく?

×

喫煙室を設けてくれといふ請願書が、女學生から、學校當局に提出された。但しこれはアメリカの事、そのアメリカでも男子は自由なのに女子に許されないからといふ譯ださうだが。

×

不景氣は益々深刻化し、學窓を出づる娘たち、直ちに街頭に進出の勢鋭し。託兒所の收容兒童も增す一方託兒料を免じ辨當を支給の必要ある者多數。東京市社會局こゝに於て母子ホームの新設に愈々着手すと。

かゝる折、日本最初の産兒調節クリニツク出現。擔當者の女醫尾崎豊子女史は、長年細民街にあつて診療に從事したる人。大阪にも呼應して

地方無產黨ではその東京無產黨の堺利彦氏の爲に、閨秀作家の平林たい子女史が、終始應援辯士として力戰しましたし、中國無產黨から出馬の高津正道氏の爲には、夫人葵イツ子女史や、生田花世女史も馳せ參じて大に各地に轉戰しました。

全國民衆黨の宮崎龍介氏の爲に白蓮夫人が懸命の努力を續け、演壇に立つたり、街頭に自歌の短冊をうつたりした事も選擧挿話として聲高く宣傳されました。

勞農黨首大山郁夫氏の斷然たる大勝の背後には、柳子夫人の彩管を傾けての資金作りの話も傳へられた事でした。

とにかく戰が了ると、無產黨が豫期の成果を擧げ得なかつた事に對して彼方此方から無產黨統一の聲が擧げられ、大分具體化するやに傳へられますが、選擧前に已に聲のあげられた無產婦人團體戰線統一の問題も選擧の餘波が納まると共に當然取り上げられなければならない問題と思はれます

▽各派の新陣容

さて選擧後に於ける各婦人團體では已に新しい方針の下に、其後の運動に着手して居る所もあり、新議會を中心に、今年こそは婦選運動の上に大きな進展が見られやうとする勢が胎まれてゐます。

婦選獲得同盟は今回の地方遊說の收穫たる各地方に於て、四月の臨時議會を控えての年次總會前に支部を結成し以て對議會の大示威運動を行ふべく着手したし全關西婦人聯合會も、愈三月一日から婦選三案に對する三十萬人の請願運動を開始すると同時に、各地婦人會の選出代議士に對する運動、大臣夫人、代議士夫人に對する運動にも手を染め、臨時議會前に『婦選週間』を各地に開催氣勢を擧げんとする模樣であります。

× × ×

相談所開設の計劃あり、この中心人物は尾道の醫師夫人にして產婆なる柴原浦子女史。新しき途を拓く人々に幸あれ。

×

奉仕生活廿餘年、わが職業婦人の母としたはるゝ基督教女子青年會のカフマン女史、畏き邊より銀杯御下賜の榮に浴す。めでたし。

×

春三月、あちらこちらに試驗地獄の釜の蓋あき、ひなまつりに、思ひ切り遊びもならぬ人の子の血と淚の準備敎育に日も夜も足りず、あはれ

×

時事新報社、震災當時、厚い慰問をしてくれたアメリカに答禮の婦人を送らんとして、これを若き日本を代表する麗人に選び四人を得。高島田、大振袖に裝はせて遙かに彼地に遣はさんとするに、東京聯合婦人會幹部起つてその時代錯誤をとき、東髮、中振袖を提議。但し日本女藝即ち茶生花などに通ぜん事を望めるに於ては遺憾乍ら、尙時代錯誤の譏なき能はず。



サフラジエット (The Suffragette)（五）

シルビイア・パンカースト著

藤田たき抄譯

強制給食

一九〇九年九月十七日、首相アスキス氏はバーミンガムに開催さるべき大會出席の爲、諸大臣を引具して特別列車へのりこんだ。アスキス氏はこの大會の席上、大衆の意志貫徹の爲上院はその否認權を潔く投げ出すべき事を絶叫せんとしてゐるのである。しかしサフラジエットはアスキス氏の所謂大衆が、僅かに國民の半數、即男子のみに限らるゝ時はあくまでアスキス氏の演説を妨害する決心なる旨を發表した。

大群衆は會場へと殺倒してゐる。そしてまたその警戒の物々しさ！入場者は四の關所を越えねばならぬ。左右に居並ぶ警官は聲をからして「切符を見せろ！」と叫んでゐる。門前に群がる野次馬は大波の押しよせる如く入口に殺倒し「婦人に參政權」の絶叫に嵐の如き拍手をおくつてゐる。中ではアスキス氏の演説の眞最中らしい。が突如會場の靜寂を破つて空氣拔の窓から小石が投げ入れられた。すわこそと手ぐすねひいて控えてゐた警官は四方に散つて、物かげに隱れてゐたサフラジエットを引きずり出した。然し尚も會場の屋根に降りかゝる小石の雨はやまうともせぬ。やまぬも道理。遙か彼方の塔の上に、バーミンガム市の勇敢なサフラジエット、リー夫人と若く美しいシヤーロツト、マーシユ孃が突立つてゐる。瓦をはぎとり、ねらひをきめて會場の屋根へと投げつけてゐるのだ。瓦の雨にさすがの警官もたゞ啞然として「やめろ。やめないか。」と興奮をつゞけるのみである。

この日八人のサフラジエットは十四日乃至一ケ月の拘留を宣告され、シヤーロツト、マーシユは三ケ月、リー夫人は四

ケ月の刑を言ひ渡された。我々本部のものは彼女等が絶食同盟を敢行する事を信じてゐた。

九月二十四日の新聞は政府がゴム管を口から胃へ通して行ふ恐ろしい强制給食の方法をとりつゝある事を暴露した。この報せに我等の心配は極度に達した。醫師等は口を揃へてこの方法の如何に有害であるかを極言してゐる。ドクトル、フオブス●ロス氏は實に次の如く述べてゐる。「自分は特にサフラジエツトの爲に何等の關心を有せざるも、醫師としてこの給食方法が到底忍ぶべからざる殘忍、非人道的なるものである事を發表する義務を有する。自分は妻もあり、子もある代議士によつて構成さるゝ議會がこの殘忍を許す事に驚きを禁じ得ないのである。」此給食方法に反對する百十六人の醫師によつて署名された覺書はアスキス氏に提出された。



ゴム管によつて强制給食されてゐる圖

之よりさきリー夫人は九月二十二日、水曜日、ウインソングリーン牢獄へとおくられた。彼女は政治犯としての待遇を要求し、聞かれず、直に異議の申立にかへて檻房の窓硝子を破つた。罰として日中は後手に縛りつけられ、夜間は胸部に掌を外にして縛りつけられた。木曜日の眞夜中には彼女の手首は、はれ上り醫師も遂ひにその苦痛を認めて手錠をはづさねばならなかつた。金曜日もすぎ土曜日となつた。でも彼女は運びこまれる食事に手も觸れない。彼女は到々治療室へと運ばれた。次にのせるのは彼女と醫師の間にかはされた會話である。

醫者は云つた。「あなたは私の言ふ事をよく注意してきくがよい。私は刑期の滿つるまで如何なる理由の下にもあなたを出獄させぬやうとの上官の命令を受けてゐる。若しもあなたがこの上絶食を續けるなら私は無理にも食べさせて見せ様。」

彼女は立ちどころに答へた。「私は拒絶する。があなたが强制給食するならばその方法は？」醫者は返事もしない。「强制給食は一種の手術である。故に法律上、狂人に非らざる限りは本人の承諾なしに行ふ事を得ざるものである。」リー夫人はあくまで主張した。

しかしあはれにも次の瞬間に彼女は大勢の手で押へつけられてしまつた。彼女は齒を食ひしばつてがんばつた。が之も醫師の手によつてこぢあけられその間に女看守はミルクとブランデーを流しこんだ。然しこれも彼女の抵抗に多くは床へとこぼれてしまつた。同じ日の午後彼女の檻房へ數人の醫者と女看守がどや〳〵と入りこんで來た。一人の醫者は二尺餘りのゴム管を握つてゐる。女看守は手どり足どり彼女をベツトの上に倒してしまつた。手早く醫者はゴム管を鼻孔へとほした。その刹那の堪へられぬ苦しみには力一つぱい彼女を押へつけてゐた女看守も涙にむせび、側に立つ醫師等も思はず面を掩ふたとの事である。やつとゴム管は胃へ落しこまれた肋骨一枚、一枚が挫かれる痛さだ。流動物が注ぎこまれた。窒息の苦しみ！頭は焰と燃え、鼓膜は今にも破裂しさうだ。ゴム管の引き拔かれる時彼女は鼻も喉も一緒くたに引きちぎられるのかと怪しんだ。殆んど氣絶せるリー夫人は檻房へと戻された。この死の苦しみは日毎、日毎繰り返へされるのであつた。

マンチエスターのストレージウエーズ牢獄に於いても四人のサフラジエツトが强制給食の苦痛をなめてゐた。ミス、デピソンは日毎繰り返へされる强制給食に生きた心地もなかつた。何の都合か、或日彼女は隣の檻房にうつされた。そこには二のベツドが置かれてゐた。こおどりして彼女は二のベツドを端と端とを合せて部屋一つぱいに並べた。一方の端を扉に押しあて他の端を向の壁に押しつけて。扉は内部にひらかれるのだ。彼女はかくして看守の闖入を防ぐ事が出來る。一心不亂に彼女はベツドの端にしがみつき力限りに押へつけてゐる。やがて看守はやつて來た。錠は外からはづされた。而して扉は力まかせにおされた。しかしこの扉のあかばこそ女看守は鍵穴からのぞいてあかぬ道理を悟つた。怒り狂つた看守は窓硝子を破つた。蛇管の口はつきとほされほとばしり出づる水は瀧の如くに彼女を打ちのめした。床一面の水に浸つてびしよぬれに、ふるへながらも彼女はまだベツドの板にしがみついてゐる。

休戦

一九一〇年の春はめぐつて來た。總選擧の幕は切つておとされた。婦人社會政治同盟は四十の選擧區に於いて政府と戰つた。而して殆んど凡ての選擧區に於いて自由黨の得票數は激減した。のみならず衆議院に於ける十八の議席は美事自由黨の手より奪取されたのである。最早自由黨絶對多數の夢は破られた。その政策の遂行にあたつて政府は勞働黨若しくはアイリッシュ黨の贊助を絶對に必要とするに至つたのである

サフラジエツトは諸方面より政府に對する戰鬪を中止するやうにとの勸告をうけた。何故ならば今や政府は婦人に參政權を與へ平和をはからんとするも强制され脅迫されて賦與したと云はれんことを只管に恐れてゐるからと云ふのである。我等婦人社會政治同盟に於いてもこの忠言を諒としてつひに一九一〇年二月十四日休戰の布告をなしたのである。

婦人社會政治同盟は過去數年間に單獨のみにても二萬回にわたる集會を催した。今や休戰は布告され我等は同盟の組織に闘し且つまた婦人の政治教育に闘しまつしぐらに突進する秋を得たのである。實に一九一〇年は婦選運動諸團體にとつては惠まれた年である。わけても婦人社會政治同盟の發展は素晴らしい。クレマントインの本部事務所は二十三の部屋を有し、機關紙「ウーマンス、プレス」はチャーリングクロス街に堂々たる貸店と十三の部屋を占領してゐる。支部は一〇五を數へ本部の年收は機關紙のもたらす收入、九萬圓を除いても實に三十四萬五千圓を計上してゐる。

顧つて議會の雲行は如何に？多ごもりの此の世界にもやがては春も訪れる。婦選時代は近づきつゝある。絶對多數の夢破られた自由黨の横暴は最早にらみがきゝかねる。頑迷な自由黨内閣々員も兜をぬがねばならぬときが來た。今や多數の支持をもつコンシリエーションビル（調定婦選案）の通過は容易である。さすがのアスキス氏も、今議會中にコンシリエーションビルの通過をはからん事を約した。今や婦選に對する唯一の障壁、政府の邪魔だては取り除かれた。コンシリエーションビルは勿論制限婦選案である。我等はこれにあきたらぬ。然し之も必要なる段階であらふ。

かくして婦選の爲の光輝ある大奮闘の物語も大團圓を告げんとする。血みどろの惡戰苦闘は我々女子に貴重なる教訓を與へた。勇氣と獨立心とかたき友情―我等の精神的成長の素晴らしさ―理想との結合は我等より醜くき汚れたる心を取り去つて弱き我等を偉大なる人格と化したのである。尊き經驗より得しこの教訓を忘れて何とせう。我等は之を國家の政治に即ち國家の世帶に應用しなければならぬ。希くは我等男女が對立にあらず、協力によつてこの世をより住みよき世界となさん時の速かに來らん事を―父母ふた親に育くまるゝ幼子の幸福は誰も知る。父母、兄弟、姉妹にまもらるる國家も亦幸福である。

（完）

萬女鑑

三月（彌生）

日曜　二日　九日　十六日　廿三日　三十日

祝祭日　廿一日　春季皇靈祭　六日　地久節

×

千代女

嘆んでも笑ふてばかり雛かな

×

茅野雅子

野をゆけど野に青々と柔かく
芽ぐむ草あり恋き三月

×

花屋の店頭がめもさめるやうになりました。贈答品としてだん〳〵歡迎されるやうです。赤ちやんの出生祝ひには小さい扁平な花束を可愛いく作つて、赤ちやんを埋めるやうにしますし誕生祝には余り花數を多くせず束の下をリボンで結んで、その花瓶にさせるやうにします。百合は余りおめでたい時には用ひませんし、薔薇なども淋しい花に數へられますから、御病氣見舞などの折、先方の人が特に好むのでなければさし控える事。又同じ病氣見舞には、香の高いものもよしあしですよ。黄色が不吉絶交を意味し、眞紅が熱烈な愛を意味するなんかは、御存じおきでせうか。

×

物のよごれの目立つ頃、手まめに衿もとをきよめませう。白粉はオレブ油をぬつた上でベンヂンでおとりなさい。品質を少しもいためず、きれいに取れますよ。

×

大衆向の春の裝ひは、九分通人絹ですが、人絹の安全な洗濯法は、水一升にアルコール大匙一杯、日本酒なら盃二杯の割で加へた中に用布を浸してから、石鹸で洗ひます。人絹の纖維の性質は、彈力に乏しい代りに余り汚れを吸ひ込みませんから强く洗つたり、もんだりする必要はなく、板の上にひろげて、輕くブラシで洗ふ程度にします。洗ひ上げに水一升に醋酸一二滴落し、それにアルコール少量入れた水にもう一度通すと、光澤がよく出ます。

×

洗濯石鹸を買ふ時には、水ぼくない、ベタつかないものを擇ぶ事。ベタつくのは卽ち遊離脂肪の多い證據。次に香を嗅いでみて臭いのは惡い脂肪を用いてあるのだし、色の黒いのはヤニを澤山含んだものと知れ。

×

臺所の合理化結構。さり乍ら已成のカツレツやコロッケは不正商人の殘肉處理法の一つであり、卵もハネ玉といふ不良品を用ふる事が多い事を御承知の上で御利用を。

×

春先、陽氣のゆるむ頃、一寸とした食慾不振が襲ひ易いものですが、それはお臺所方がお酢を上手に用ふ事によつて完全に防ぐ事が出來ます。

一體お酢は、物の味を淡白にする力ある事は、鰯とか鯖とかいふやうな脂肪の多いお魚を煮たり焼いたりする時一滴お酢を落せば、脂肪を中和してさつぱりと食べられるのでも解ります。同じ野菜料理でも、春先關西でよくやる菜の立つたお菜の酢いりなど、自ら季節に叶つてゐるものといへませう。氣のきいたお酢のもの一品を心がけやうではありませんか。

×

序においしいお魚の煮方。お砂糖は使はず、みりんとお醬油で煮る事。更においしくするには、生の內に味の素を極少

し（五人分に一匙）ふりかける事。お魚のおいしい味はヒシツシンといふアミノ酸にあるのでこれに味の素のグルタミン酸ナトリユームを作用させるとグルタミン酸ヒシツシンとなる爲に一層引立つておいしくなるのです。みりんはコハク酸でこれが又味を一層徹底させるのです。

但し肉質の軟かで味のよくない魚には砂糖を用ふ方がよろしい。砂糖は肉を硬める作用があるからです。

×

貝類のおいしい季節が來ました。蛤のお吸物をお作りになる時には、お汁の煮立つた時、白米五六粒お入れなさい。貝柱がふしぎによく放れます。又昔の人のいつたやうに、食べる時、貝の上から箸で二三度なでても奇妙に取れるものです。

×

あさりは値も安く、營養價にも富んでゐます。あさりのお惣菜料理を一つ御傳授しませうか あさりをよく水洗ひし、水を切りおき、メリケン粉を天ぷらの衣のやうにとかし鹽胡椒で味をつけた中へ入れ、かきあげのやうにまぜて、フライパンにベタを少しひいて、杓子で流し込み一寸五分徑位の丸さにして兩方をこんがり燒き、あつい所をレモン汁でもしぼりかけて召上つて御覽なさいませ。お好みでソースをかけてもよろしい。

×

苺のビクトリア種が大分出てゐます。いつの世の中になつてもこの果物の美しさ、愛らしさが、ルビーに例へられる事にかはりはないのではないかと思ひますが、こんなに春を魁けて出るのは、例の靜岡の久能山の麓から產出する石垣苺です。南向の傾斜地の石垣の石の熱を應用して作つたもので、ワセはクリスマス頃から出ますが、二月頃で終り、この稍大粒のビクトリア種は四月頃まで出ます。それからはもう各地の普通產が出廻ります。

×

このビクトリア種は香の高い粒の大きい、苺ミルクに一番ふさはしいものです。苺ミルクを食べる時、一粒〱つぶして食べる方が味もよければ、砂糖の甘味が苺にしみこむだけでもなく、苺の酸の爲に牛乳が分解して、ヨーグルトが出來るのですから、どうか皆さん面倒臭がりはなさいませんやうに。然しつぶしたらすぐたべる事。



新生への道（連作小説）

小寺菊子

第五回

遲くまで頭腦がさえてゐて、やうやう眠つたのが二時すぎでもあつたらうか、何かの音に眼をさましてふと氣がつくと、もう臺所がコト〳〵云つて障子に薄すりと灯りがさしてゐる。

『なるほど、あの御主人もう起きてゐなさるわ。』

彼女は意識がはつきりして來た。

『明日の朝は私が起きて臺所をしますから、あなたはゆつくり寢てゐていゝんですよ、よい時分に起して上げますから……』

昨夜寢しなに、主人は家庭仕事などに一向慣れてゐさうもない自分を勦はつてくれるつもりか、それともその方が主人の方の好都合なのか――或はあの人の趣味であるのかも知れない――とにかくさう優しく云つてくれた。彼女は瞬間、ちよつと女性的本能からか、ニツコリしながら、それでも好いのかな、と思つてみた　けれども、その反對に、

『明日の朝は早く起きて、食事から掃除一切をやつて下さいよ。』

と、初めて來てなんにも分らないところへそんなことを云はれたよりか、どんなに有難いことだか知れないので、只ハイ〳〵と素直に答へておいた。そして主人よりさきに寢た。主人は隣りの八疊で、もう早くから二人一緒に寢かせてあつた男の兒と女の兒をわざ〳〵起して厠へつれてゆき、それから彼は自分の寢床へ入つたやうだつた。パチつとスヰッチが切られてから、二三度咳拂ひがして、それからなんだかほつとしたやうな太い溜息みたいなものがもれたが、そのあとはもうなんにもきこえて來なかつた。そこで藤子は初めて安心の息を吐いて、思ひきり兩脚をぐいと伸ばした。

『かうやつて誰に遠慮もなく寢るところが出來たのだから、當分此家で働いて見ることにしようか、どつちにしても二三日はゐてみませう。』

あの婦人職業紹介所で、何か事務員らしい勤めに、と云つて綴ち込みにある『求人申込書』を一枚一枚叮嚀に調べて貰つたのだが、あるにはあつても大抵『通ひ』だつた。通ひとなれば、假令三疊でも自分の部屋といふものを見つけなければならない、朝夕の食事も自炊は面倒だから、どこかの公衆食堂へ出かけるにしても、電車賃はかゝる、履物がへる、足袋もよごれる、お化粧品代も少しは入る、雨が降れば高下駄、雨傘、レンコートと一通りの支度は用意しなければならぬ、いろ〳〵考へて見ると事務員の安月給ではやれさうもない、さうなると、最もの安全策は『住込』であるが、体の好い仕事で、住込みで、自由な時間がいくらか與へられて、割に靜かで、本が讀める――そんな巧いことは中々ありさうもない、東京へ來さへすれば、女學校の窓から覗き眼鏡を見るやうに、毎日なんのかのと友達と話し合つては無限の空想を馳せてゐた、此大都會の眞只中へ飛び込んでさへ來れば、キリストの救ひのやうに、迷つてゐる若い女たちに仕事を與へようと大手をひろげて待ち構へてゐるかのやうに思つてゐたが、さてかうやつて紹介所の入口に立つて見てゐると、あとから〳〵這入つて來る女も、這入つて來る女も、自分の望むやうな口がないと云つてこぼしぬいてゐる。係りの婦人も此方の氣持を考へてくれる餘裕なんか丸でないやうで、ほんとうの事務的に受

け答へしてゐるにすぎない。かうなると一番手つとり早いのは矢張り『女中』である。現にさつきから一人の奥さんが女中を探しに來てゐるではないか。

『家族は夫婦に老人一人、子供五人の八人です、女中は二人使ひですが、一人が急に田舍へ歸つたものですから……』

と云つてゐる。そして子供は三人學校へ行くと云ふ。お辨當を三つ作る譯だ。主人は辯護士、奥さんは世帶やつれのしたおヒスさんらしい。もう四十すぎた淋しい頸脚に『白』の煉白粉が萬遍なく塗られてある。どうして奥さんといふものは四十になつても五十になつてもあゝしてごて／＼と白粉を塗らなければならないものか。あの奥さんに金切聲で毎日『藤や、藤や』と呼びつけられては一寸たまらない氣がする。

『女學校でも出た方ならそりや好いんですよ。夜は子供たちのお勉强を見て貰はれますからね、まあ家庭敎師兼家政婦と云つたやうな譯なんですよ、さういふ方があれば月給だつて相當に出しますからね。』

なんとなくつんけんとした氣に喰はない言葉のアクセントで、ちよい／＼藤子の方へ冷たい視線を投げてくるのであるが、藤子の心がちつとも動かない。家庭敎師兼家政婦、そして女中——場合によつてはそれをも嫌はないにしたところで、此奥さんの品位が、どうも昔は藝者でもした人ぢやないかと思はれるので、てんで氣が乘らないのだつた

然し、さう云つて、今日も亦煮え切らない格好をして三重子の家へ居候に歸るのは誠に好ましくない。彼女は心が焦つてならないので、だん／＼と憂欝になつてくる自分をしばらく埃だらけの腰掛に休めてゐると、そこへ一人の男がひよこ／＼と這入つて來た。

『……女中さんと云ふんではありません、私の要求するのは、つまり私の家の助手さんですな、女中さんと助手さんとでは一寸から語呂が似通つてゐますが、私は決して在來の女中さんとして扱はうといふのではありません。すこし事情があつて最近家内と別れたものですから、二三度婆やのやうな人にも來てもらひましたけれど、どうも年老りは思はしくないので、それで此度は一つ若い助手さんに來て頂きたいと思ふのです。月給は十五圓出します。小

さい子供が二人をりますが、家事の大體の仕事は私がしますから、只その手傳ひをするといふ氣持で來てくれる方があればいゝんです。子供の御世話を賴むのにも、どうもあんまり敎育の程度が低いと、不安でいけません。勿論暇は充分あります、まあ少し本でも讀みたい、勉强がしたい、といふやうな心掛けの婦人でしたら、丁度よからうと思ふんです。さういふ希望者はありませんか？』

卓子に兩手をしつかりとつけて前へ乘り出しながらその男は熱心に云つてゐた。

『尤も家內がゐないと、若い婦人は氣味わるがつて來ることを否むかも知れません。然し、私は斷じてその婦人に迷惑をかけるやうな、非紳士的行爲はしません。私はかういふ者です。職業は著述です。』

男は洋服のポケットから名刺を一枚出して係りの人に渡した。卒直でヘキ〱してゐるのが藤子の心を引いた。黑い事務服をつけた係りの婦人は萬年筆を指にはさんだまゝ藤子の方をちろりと上眼で見た。その眼は『あなた如何？』と訊ねてゐた。

著述家で、川村二郎、なんだか聞きおぼえがあるやうでもある。飜譯家かも知れない、そんな氣がする――奥さんと別れて困つてゐる、さういふ人の助手なら勤めて見ようか？　至極眞面目で律義さうでキビ〱した人だから……

そこで、話がぢきにまとまり、藤子は東中野から三丁ほどある川村の家へ一緒に來たのだつた。

× × ×

『私、もう起きますわ。』

彼女は寢床の上に起き返つて、臺所の方へ聲をかけた。

『いや〱、まだ早いです、もう少し寢てゐらつしやい。もうぢき味噌汁が出來ますからね、あとは湯が湧けばいゝ

んです。それから雨戸をあけます、そしたら起きて下さい。』

『でも、それぢや、私なんにも助手らしくなくて變ですわ。』

『いや／＼、あとの片附といふ仕事があります。なんでも、物は計劃するとか、建設するとか、つまり組立てをやるといふ仕事は面白いものですが、跡始末つてやつはどうも氣乘りのせんものですからね、そこをポツ／＼あなたにお願ひしますよ。』

　藤子は又横になつた。なんでも主人公の云ふ通りにしてをればよいのだらう、と思つて見た。けれど、それではどうも『助手』といふ職業意識が承知しない。彼女はそれから起きた。雨戸があくと子供たちが眼をさました。厠へつれてゆく、着物をかへさせる、顔を洗つてやる、掃除がはじまる、朝の涼しい微風がそよ／＼吹き込んで、主人公の笑顔と一しよに誠にのどかである。

『男の方がこんなに家庭の雜事がどん／＼出來るつてこと、私知りませんでしたわ』

『これは恐れ入つたな、實はこのために私はどうも家内にも嫌はれたやうなんです。然し、家内が無精をして汚なくしてゐると、默認出來ないので、どうも其周圍がきちんと整頓してゐないと仕事が出來ない性質なので、つひ手を出してしまふことがある、それが結局習慣になつたんですな、いや、男性としてこれは決して誇りではありませんが、今の境遇止むを得ないのでした。これからはなるたけ藤子さんにお願ひすることにしますから、どうか宜しくお願致します。その代り、時間の許す限り勉强して下さい。これからの女性は何をおいてもまづ第一に『頭腦』をこさへとかなくちやいけません。』

　兄としては年が老けすぎ、父としては勿論若すぎる―それでは學識ある親類の伯父さんか？　彼女は純粹な氣持で非常によい保護者をえたやうな氣がした。川村は今少し大きな仕事に取かゝつてゐるので、子供の面倒さへ見てくれるなら、彼女の要求は可なり容れるとまで云ふのだつた。

藤子は六畳の茶の間に机を据ゑてそこに坐ることにした。二人の子供は緣側へおもちや箱を引くり返して仲よく遊んでゐた。割合人見知りもせず、ニコ〳〵してゐて愉快な子供たちである。これでは別段一寸なんにも不平の申しやうもないやうな氣がする。

さて、そこで彼女は心を落着けて、改めて周圍を見まはし、今日の『自分』を反省してみた。自活の第一歩として試みに選んで來た此生活が、果して自分に適してゐるものかどうかを？

明るい朗かな氣持で快く働き勉强してゆくのに、丁度恵まれた仕事であるかどうかを（つゞく）

次回執筆者……………葵イツ子氏

海外だより（二）

×

ベルムダはイギリスの後進植民地であるが、こゝにも婦選運動は可なり苦い經驗を積みつゝある。過般の議會では婦選案は八對二十三票で何等の討論もなく否決されてしまつた。又こゝに興味あることは、昨年財產家の婦人連が敎會委員會の選擧の際、投票を企てゝ問題を起し、ついに事件は大審院にまで廻された、そして、その判決に曰く、憲法に認めてある「人」といふ文字は男子を意味してゐるのであつて男女を含むのではないといふことになつた。

然し、一月號の海外だよりで報じたやうにカナダの上院議員選擧被選擧の權利が婦人にも有るかどうかといふ大問題が起つた時、英本國の樞密院ではカナダ大審院の意見を覆して憲法に人とあるのは男及び女を含むものであるといふ決議をして、ついにカナダ上院に婦人の進出を認めた最近の實例があるので、ベルムダの婦選運動者達はこれに力を得て、あらたに提出案の作製に取りかゝり、如何なる罵言嘲笑をも覺悟の前で準備中であるといふ。

×

フィンランドは世界の婦人參政權では先覺國であるが、去る一月一日あらたに婚姻法が制定された、それによると、夫と妻とは法律上全く同等の權利の持主である、そらして、妻は夫の承諾なくして種々の契約書に記名調印する事も出來れば、結婚前に持つてゐた自分の財產又は結婚後自分で收得した財產は全部自分で管理處分する權利

×

最近アメリカのクレーブランドで五人の婦人が公選された中に敎育委員として當選したメリー・ブラウン・マアティン夫人といふのは黒人として最初の婦人で白人の男子の有力な候補者よりも三千票多かつた。夫人の兩親は黒奴であつた苦しい中から立志して小學敎員となり、黒人婦人聯合會敎育委員長となり、白人及び黒人の間に人望あつく、夫人は有力な黒人辯護士であり、四人の子女の母親である。

編輯後記

□どうも〳〵大變遲くなつて相濟みません どんなにかお待ち下さつてと、遊說旅行から歸るとすぐ、方々へのお禮狀も後廻しにして編輯に沒頭したのですが、何しろ二月は廿八日の忙しさ、其上、內容は相變らず欲張りたいので、結局こんな事になり、今更御詫びの言葉も御座いません。こんな事にならないやうに、出掛ける前に、編輯會議も濟ませ、留守中にも十分に進行する手配は定めてあつたのですが、宮川さんがひとみさんの病氣で活動出來なかつたのと、兒玉さんが本部の事務に追ひまはされたので、森さんがビラまきや廣告取りに馳せ廻つて遂に倒れるといふみじめさであつたのです。どうかお赦し下さい。四月號で雪辱いたします。

□然し欲張づたゞけの事はある積ですが。「地方婦人のみたる總選擧」如何でせう。地方の方が喜んで回答して下さつたので、裕頁もした次第。南部、八木兩氏のも其副產物です、から動いて來るものをお感じにはなりませんか？　軍縮會議續は今月も學年末猫の手もほしい筈の藤田氏に、無理矢理お願ひして得ました。同氏のサフラジエツトも愈々今月でおしまひ。來月からは米國婦選運動のミリタントのを引續き同氏に譯して戴く豫定です。對照して讀むと更に興深いと思ひます。

□では又じき四月號でおめにかゝりませう讀後所感其他、讀者の自由投稿、どし〳〵お送り下さい。（ひなまつる日　しげり）

×

□半月の遊說で只でさえ助からないところを考へてみたら二月は二十八日で終りでした。しかし、印刷屋の籠城もやつと今日でとけさうです。

二十一日、新聞社の速報の前にならんだ人々が騷いでゐました。

「何だい、無產黨は末廣一人ぢやないか、民衆はまだ目覺めねえな」

「目覺めた人には選擧權がないんですよ」

さう言つたら「さうだ、異議なし、しつかりやつて下さい」とはじき返へす樣にこの人が言ひました。

總選擧は私達に何を數へたか、少くとも三月號はそれを反映したつもりです。（こ）

×

□留守は引きうけた、地方遊說をよろしく願ひますとは言つたものゝ、丈夫だ〳〵と自慢してゐた子供が、ふと病氣になり、影響するところは甚大でした。三月號は地方遊說から歸つた後に新に地方の方々に感想を求めたり、座談會を開いたりの所へ輯編部員の數人に事故が出來、等々と色々な事情が重なりました。然し遲れただけに極めて新鮮な內容を盛つてゐるとせめてそれを以てお許しを願ます。（宮）

本誌定價

▽一部　金二十錢（郵稅五厘）
▽半年分　金一圓二十錢（稅共）
▽一年分　金二圓四十錢（稅共）

誌代は前金で拂込は振替が御便利です、切手代用は一割增に願ひます

廣告料

廣告御希望の方は御一報次第、料金その他御通知いたします。

昭和五年二月二十八日印刷納本
昭和五年三月一日發行

編輯、印刷兼發行人　市川房枝
東京市芝區南佐久間町一ノ一
印刷所　研文社印刷所
東京市麴町區麴町四ノ五
發行所　婦選獲得同盟
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

Vol. IV, No. III "FUSEN" MARCH. 1930
Published monthly by The Woman's Suffrage League of Japan.

昭和四年十二月廿八日 第三種郵便物認可
昭和五年三月一日發行



發行所 東京 麹町、四ノ五 婦選獲得同盟